



広島大学

大学案内

2021-2022

広島大学フェニックスマーク・
マスコットキャラクター



フェニックスマーク



マスコットキャラクター
「ひろディー®」

100年後にも世界で光り輝く大学へ



100年後にも 世界で光り輝く大

UNIVERSITY OF WORLD-WIDE REPUTE AND SPLENDOR FOR YEARS INTO THE FUTURE



広島大学は原爆投下から4年後の1949年、広島に「平和の大学」として開学しました。以来、国内有数の総合研究大学として歩みを進め、今日に至っています。2020年には大学院改革をひとまず完了し、人間社会科学、先進理工系科学、統合生命科学、医系科学の4研究科体制がスタートしました。地域を拠点としながら世界へ、広島大学は教育、研究、社会貢献の各分野で、ポスト・コロナ、ウイズ・コロナの新たな地平を拓いています。



広島大学長
越智 光夫



HIROMOBI

東広島キャンパスを走行する自動運転シャトル。スマートキャンパス5.0の第一歩として、学生や教職員を乗せてキャンパス内を運行する実証実験を開始しました。



学へ

広島大学基本理念

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たします。



CONTENTS

- 03 広島大学OVERVIEW
- 05 特集対談
- 09 研究
 - 研究者
- 15 教育の特色
 - 学部教育・大学院教育
- 17 国際交流
- 19 入試
- 20 学生支援
- 21 社会連携
- 23 財務
- 24 広島大学の講演・講義
- 25 キャンパスガイド
 - キャンパスマップ
 - 広島大学の諸施設
- 29 データ・沿革
- 30 立地・アクセス

建学の精神「自由で平和な一つの大学」を体現する広島大学。総合研究大学として国内屈指のスケールを誇ります。また、世界各国の大学と大学間国際交流協定を結び、各地に海外拠点を設置するなど、海外ネットワークを強化し、世界にチャレンジするグローバル大学として着実に歩みを進めています。

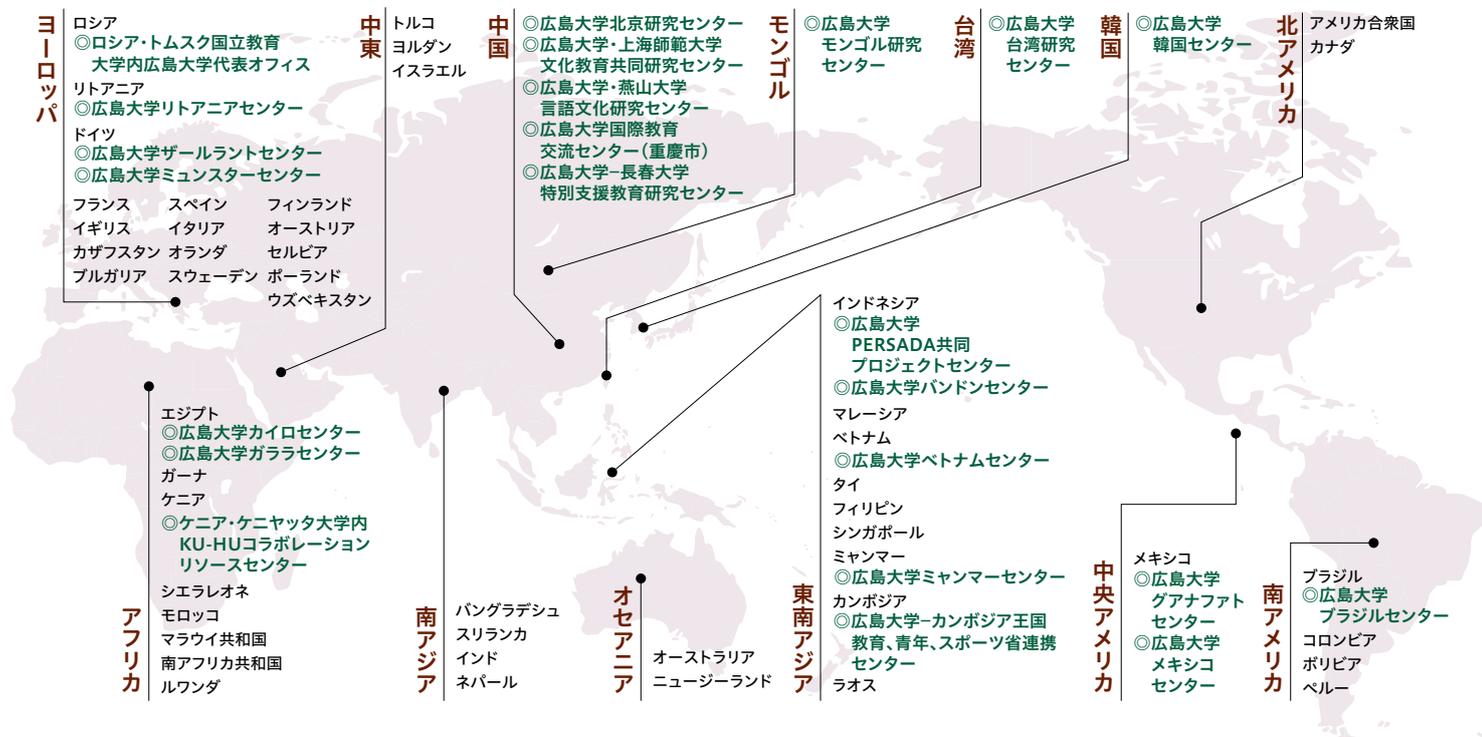
教育研究組織 (令和3年4月1日現在)

国立大学法人 広島大学

学 部		病院	
総合科学部	総合科学科		
	国際共創学科	図書館	
文学部	人文学科	中央図書館	
教育学部	第一類(学校教育系)	東図書館	
	第二類(科学文化教育系)	西図書館	
	第三類(言語文化教育系)	霞図書館	
	第四類(生涯活動教育系)	東千田図書館	
	第五類(人間形成基礎系)		
法学部	法学科	教育本部	
経済学部	経済学科	全国共同利用施設	
	附属地域経済システム研究センター	放射光科学研究センター	
理学部	数学科	中国・四国地区国立大学共同利用施設	
	物理学科	西条共同研修センター	
	化学科		
	生物科学科		
	地球惑星システム学科		
	附属未来創生科学系人材育成センター		
医学部	医学科	学内共同教育研究施設	
	保健学科	ナノデバイス・バイオ融合科学研究所	
歯学部	歯学科	高等教育研究開発センター	
	口腔健康科学科	情報メディア教育研究センター	
薬学部	薬学科	自然科学研究支援開発センター	
	薬科学科	森戸国際高等教育学院	
	附属薬用植物園	教育開発国際協力研究センター	
工学部	第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	保健管理センター	
	第二類(電気電子・システム情報系)	平和センター	
	第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	環境安全センター	
	第四類(建設・環境系)	総合博物館	
	生物生産学部	生物生産学科	北京研究センター
情報科学部	附属練習船豊潮丸	宇宙科学センター	
	情報科学科	外国語教育研究センター	
大学院		文書館	
人間社会科学研究科	附属幼年教育研究施設	スポーツセンター	
	附属教育実践総合センター	HiSIM研究センター	
	附属特別支援教育実践センター	現代インド研究センター	
	附属心理臨床教育研究センター	ダイバーシティ研究センター	
	附属リーガル・サービス・センター	両生類研究センター	
先進理工系科学研究科		トランスレーショナルリサーチセンター	
統合生命科学研究科	附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター	防災・減災研究センター	
	附属臨海実験所	脳・こころ・感性科学研究センター	
	附属宮島自然植物実験所	ゲノム編集イノベーションセンター	
	附属植物遺伝子保管実験施設	デジタルものづくり教育研究センター	
	附属先駆的看護実践支援センター	AI・データイノベーション教育研究センター	
医系科学研究科	附属先駆的リハビリテーション実践支援センター	学内共同利用施設	
		ハラスメント相談室	
専攻科		附属学校	
特別支援教育特別専攻科			
附置研究所			
原爆放射線医科学研究所	附属被ばく資料調査解析部		

海外ネットワーク・拠点 (令和3年5月1日現在)

広島大学では、世界54カ国・地域と大学間国際交流協定を、また51カ国・地域と部局間国際交流協定を締結しています。さらに、中国、台湾、ロシア、エジプト、ケニア、ブラジル、ベトナム、インドネシア、韓国、ミャンマー、メキシコ、カンボジア、リトアニア、ドイツ、モンゴルの15カ国・地域に海外拠点を設置しています。 ※地図中の国・地域名は大学間国際交流協定締結国・地域です。



国際交流協定

大学間

54カ国・地域
342機関 381協定

部局間

51カ国・地域
361機関 399協定



パルマ大学(イタリア)と大学間協定を締結(令和元年10月)



広島大学ミュンスターセンターを開設(令和元年5月)

県外オフィス

東京オフィスは教職員の活動や本学学生の就職活動を支援するほか、大阪・福岡オフィスでは入学相談などを行っています。



東京オフィス

東京都港区芝浦3-3-6
キャンパスイノベーションセンター409号

高大接続・入学センター 大阪オフィス

大阪府大阪市中央区道修町2-1-10
T・M・B道修町ビル3階 アーバンオフィス北浜139号室

高大接続・入学センター 福岡オフィス

福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-1
アーバンネット博多ビル4階123号

附属学校

広島高等師範学校や広島師範学校などを前身校とする広島大学の附属学校の基本理念と役割は、「学内外の人の発達を支援すること」です。大学の学びに接して社会で幅広く活躍できる幼児・児童・生徒を育てるとともに、大学生・大学院生の教育実習先として質の高い教員の養成に寄与しています。

翠地区(広島市)



附属小学校



附属中学校
附属高等学校

東雲地区(広島市)



附属東雲小学校



附属東雲中学校

東広島地区(東広島市)



附属幼稚園

三原地区(三原市)



附属三原幼稚園



附属三原小学校



附属三原中学校

福山地区(福山市)



附属福山中学校
附属福山高等学校

平和を紡ぐ アニメーションの力



越智 光夫
Ochi Mitsuo
広島大学 学長



片渕 須直氏
Karabuchi Sunao
アニメーション映画監督

アニメーション映画『この世界の片隅に』／『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』を手がけた片渕須直監督が「広島原爆の日」の2021年8月6日、広島大学の平和企画「芸術から平和を想う」に参加し、学生たちに講演しました。折からのコロナ禍の影響で、東京からオンラインでの参加となりましたが、「76年前と1021年前のあいだで—非常事態で働き場所を得た女性たちのその後—」と題した講演を終えて、越智学長と対談。アニメーション映画との出会い、『この世界の片隅に』／『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』が描く戦争と日常、平和への想いなどをテーマに熱く語り合いました。

ファインダーが切り取る世界

越智 広島に原爆が投下されて76年となる本日、広島大学平和企画にご参加いただき、ありがとうございました。コロナ禍のため東京からオンラインでの講演となりましたが、戦争と女性の社会進出という切り

口からお話を聞かせていただき、大変感銘を受けました。まず、片渕監督は子どもの頃、どういう子どもさんであったのか、どんなことに興味を持っておられたのか、などからお伺いできればと思います。

片渕 小学校高学年の頃から、父のハーフサイズのカメラを遠足や修学旅行に持って

いってファインダーのぞを覗くのが好きでした。ファインダーから見えるのは、まさに「この世界の片隅」を「片隅」に切り取るような感じだったんですね。中学校ではクラスで映画を撮り、高校になると本格的に8ミリカメラでいろいろ撮り始めました。その頃はドキュメンタリーのカメラマンになりたい



クラスの先生や仲間と映画制作に没頭した中学時代の片淵監督(左から4人目)

など。ファインダーを覗いて撮影して世界を切り取るというのが、自分の習性になっていったんだろうと思います。そんな時にアニメーションと出会い、その道を志しました。当時調べていた日本のアニメーション史上に名を残す先生がいる日本大学の映画学科を受験し、入学すると3年生でもう現場に潜り込んでやっていました。モータリウムなところが全くなって、今に至るまで一本道で続いている気がしています。

越智 行ったり来たりで目的地になかなかとどり着けない人も多い中、最初から一筋の道を歩んでこられたというのは貴重なことです。大学は理工学部にも合格されたそうですね。

片淵 万年筆会社に勤めていた父の親友で、いろいろなものを混ぜてインクの色を作る人がいました。呉の工場から出張で上京すると家に泊まり、父と技術談義をしていました。私にも「こんなものを混ぜたんだよ。使ってみる?」とくださった。化学的に色を作る仕事って面白そうだなというのが理工学部を志したきっかけですが、映画学科も受かっていた。映画やアニメーションを作るのは、まさに色を使う方です。結局、色を使って物語を考える道に進むことになったわけです。

2歳11カ月の記憶

越智 ご祖父様が映画館を経営されていたようですが、その影響もあるのですか。

片淵 僕が10歳頃まで、母方の祖父が大阪府枚方市で映画館を経営していました。その間、年に1、2回は漫画映画を見ていました。不思議なことに2歳11カ月に映画を観た時の記憶があるんです。『わんぱく王子

の大蛇退治』という映画の終わりかけで、クライマックスの一番いいシーンが始まるころでした。その時に見たスサノオノミコトがヤマタノオロチと戦う決戦の場面を描いた二人のアニメーターのうち、月岡貞夫さんは進学した大学の先生で、大塚康生さんは就職先に大先輩としていらっしやった。奇しくも2歳の時に見た場面の絵を描いていらっしやった先生方に教わることになり、本当に自分の人生は1本のレールの上を走っているんだと思います。

越智 私は3、4歳の時に池でおぼれたのを最初の記憶としてかすかに覚えていま



「戦争もの」映画に新風を吹き込んだ『この世界の片隅に』に、新たなエピソードを追加した『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』(2019年公開)

す。作家の三島由紀夫は産湯につかった時の情景を事細かに書いていますが、2歳11カ月というのもかなり早いですね。

片淵 セリフも少し覚えていて、後で見直すたびに「あっ、ここから見たんだな」と確認していくから、記憶が増幅されていったのでしょうか。『わんぱく王子の大蛇退治』の主軸だった大塚さんは、プラモデルの仕事をされていた時期があって、僕も中学生の頃にプラモデルでなじみの名前だったのです。今まで全然別の人だと思っていたものが突然重なって一つになった時の驚きは、今も鮮明に覚えています。何かを自分が発見してしまったという衝撃でした。その後、

大塚さんには就職先で教わりましたが、今年3月に亡くなられました。もっともっとお話を聞かせていただきたかっただけに残念でなりません。

越智 別人と思っていた方が実は同じ人と知った時の驚きは並大抵ではなかったでしょうね。私の場合は、アメリカから人工関節の講演のために来られた整形外科の先生と話していて、ずっと参考にしてきた膝の靭帯の再建法を開発した先生と同じ名前であることに気づいたんです。生物学的に再建する方法と人工関節で置き換えるやり方は真逆です。先生と話すうちに、実は同一人物であることが分かり、驚くと同時に一気に親近感が湧いたことを思い出しました。

『この世界の片隅に』

越智 『この世界の片隅に』は2016年に公開されて以来、ロングランを記録しています。監督の目から見てこの映画の魅力は何だと思われますか。

片淵 最近はアニメーションをご覧になる方の年齢が高くなり、40代、50代の方が普通に映画館に来てくださいます。その方々が2回目には70代、80代のご両親世代を連れてこられ、館内が70代、80代のお客さんで一杯になることがありました。僕がお目にかかった90代の方はかくしゃくとした女性で、「私の人生の証明がここにあります」とおっしゃった。僕らは懸命に調べて描いたけれど、本当にそうだったのか100%の自信では当然ないわけです。実際に戦争中を体験された方が

「あの時代の空気って、本当にあだった」と教えてくださって、答え合わせができた。呉の映画館では、戦後生まれの人が観ていると、「これはあそこのあの場所」とか「あの時、あだった」という地元の年配の方の声が上映中に聞こえてくるそうです。「静かに」と注意することもなく、ただ映画の世界が広がったようで味わい深かった。この世界の「片隅」には外側があるのだという認識が広がる経験ですね。今まで戦争といえば紋切り型に描くのも仕方がないと思っていたのが、もっと体験的なこととして受け止めていただけたのではないかな。もう一つは原作者のこ

うの史代さんが作られた、すずさんという主人公が非常に親しみを持って、自分の隣にいるように感じていただいたことだと思います。

越智 風景とか、もんぺの作り方とか、一つづつがきちんと時代考証に裏づけされていますね。広島と少し離れた呉から戦争と原爆を見つめることで、かえって戦争の悲惨さを問いかけています。戦争を表面だけではなく、日本中どこでも誰もが経験したかもしれない普通の暮らしとして描いていることが、戦争を経験したお年寄りをはじめ多くの人々の共感を呼んでいるのではないかと思います。

片淵 すずさんが着物にいきなりはさみを入れて作るシーンは、もんぺの正しい作り方ではありません。すずさんが粗忽そこつなので、ああなっている。関西の映画館でご覧になっていた年配の女性の方が「あのやり方はあかんわ。この子、トロいわ」と。横の席でご覧になっていた若い人から「あのやり方はだめなのか。一つ教わりました」と聞いたことがありました。

小さな家の周りの物語

越智 すずさんの姿を通して、どんな日常の普遍性を描きたかったのでしょうか。

片淵 すずさんが毎日どんな献立でご飯を作っていたのか、物語が描く2年分の献立を全部作ること。それを画面にしてエンディングのところまで文字が流れて、いろいろなおかずも流れるといいなと思っていた



越智 光夫

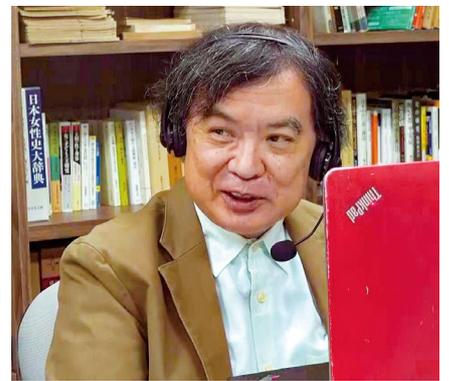
Ochi Mitsuo

1952年愛媛県今治市生まれ。広島大学医学部を卒業後、整形外科医局に入局。95年島根医科大学(現・島根大学医学部)教授。2002年広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授(整形外科学)に就任。広島大学病院長を経て15年から現職。同年、紫綬褒章を受章。21年、文部科学省中央教育審議会委員。専門は膝関節外科。

んですが、なかなか難しくてできませんでした。こうのさんも「毎日どんな食べ物が配給されていたかという記録がないから分からないんですよ」と。想像することはできても、事実から取材しようとする資料的な限界がありました。すずさんには毎日の生活があったことがすごく大事です。原爆投下の8月6日より前の生活があって、8月6日を乗り越すことができた人には、その後の生活がつながっている。生活というのは例えば毎日、晩ご飯を作って食べること。映画では終戦の日の8月15日の晩ご飯はおかずが全くないご飯を描いたんですが、その翌日も晩ご飯を食べ、その翌日も晩ご飯を食べ、ずっとずっと重ねていくと、僕らの今日の晩ご飯になる。そういう日常の連続性を、すずさんが背負っているのではないかと思っています。

越智 すずさんを通して当時の日本の8月6日から15日以降を描くということですね。その際、原作者のこうのさんと世界観、時代考証などを詳しく話し合われたと聞いています。広島や呉に関してどんな発見があったのでしょうか。

片淵 最初にこの原作をやりたいと提案したのは、たまたま2010年の8月6日でした。8月6日に企画プロデューサーに話したと日記に書いています。しかし、こうのさんにお目にかかれたのは、ほぼ1年後の2011年7月なんです。それまではタイミングが合わなくて直接お目にかかって話す機会がありませんでした。今にして思うと、それがよかったんじゃないかなと。漫画を読んで分からないところをいきなり聞くのではなく、自分たちで調べられるだけ調べた上で、それでも最後の最後まで残った分からないことを聞くことになったわけです。こうのさんご自身もやはり一人で一から歴史を調べて、『この世界の片隅に』の中で描かれている時代に分け入っていかれたんです。同じような体験をすることで、こうのさんがされたことをよく理解できました。戦争というものを歴史上の大きな項目にとらわれずに、生活史年表のような細かいところから見ていかれたんだなと。自分たちも同じようにしていて、どんどん深めていった先で、こうのさんとお目にかかることができたんです。その時には「あのことですよね」「そうです」と、ツーカーでお話しできました。こうのさんは広島のご出身ですが、おばあさんと一緒に呉に住んで広島大学に通っておられたこと



片淵 須直氏

Katabuchi Sunao

1960年大阪府枚方市生まれ。日本大学芸術学部映画学科在学中から宮崎駿監督作品に脚本家として参加。宮崎監督の『魔女の宅急便』(89年)で演出補を務めた。TVシリーズ『名犬ラッシー』(96年)で監督デビュー。16年、広島・呉を舞台にした『この世界の片隅に』(この史代原作)は、日本アカデミー賞「最優秀アニメーション作品賞」を受賞するなど、国内外で高い評価を得た。19年『この世界の(さらにはいつもの)片隅に』を公開。

もあり、呉の小さな道の呼び名まで知っておられたし、まさに小さな家の周りの物語として飲み込むことができた気がします。

事実を徹底検証する

越智 医学をはじめとする科学研究では、独創性とともにも再現性が重視されています。監督ご自身も映画のリアリティーを再現するために、徹底的に事実を検証する手法をとっておられますね。

片淵 映画を作る時は場所を描かなければいけないので、かつての日本映画は必ずきちんと調べて作っていたはずなんです。怪獣映画『ラドン』で、空飛ぶ怪獣が博多駅前に降りる場面では、映画の美術スタッフが現地に行き、実際にあった建物を測量するように調べて風景のミニチュアを作っていました。そうした映画の世界の伝統と自分たちの方法がそう違っていると思いません。しかし、アニメーションは全部想像力で描くこともできてしまうわけです。すると、自分の中にかねてあったものだけで全てを作ってしまうことになりかねない。それではあまりにも限界がすぐに訪れてしまう。自分の中になかったものをたくさん取り入れて作るからこそ、人に見てもらえる作品ができるのではないかと。まあ、とはいえ、いろいろ調べものをして描くのは、結局はその時代のその場所に自分が立ちたいという思いからなのかもしれない

んね。そこに行った時に足が踏む土の色は何色なのか。それを感じたい。「そこに立ったら何が見えるんだろう。それはどんな形をしているのか、全部感じたい。そう思って調べものをしてきたわけです。全体像の調査と並行して、目の前の小さな片隅の景色を感じられるようにするのがとても大切だったわけです。映画『この世界の片隅に』の中で描かれている建物は、ほとんどが本当にあった建物です。想像で家並みを描くのではなく、実際の家の写真を探することで全部を埋めていこうとしました。自分の中に抱かれたイメージなんか捨てて、ただただ、そこにあった風景をかけらまで探して描く。何より私たちがその場所に行って、その風景を見たかったということが大きな動機です。

未来の可能性を刈り取る戦争

越智 お話を聞いて、私は講演で何回か訪れたワルシャワの街を思い出しました。第二次世界大戦で破壊されたワルシャワの旧市街は戦後、市民によって「レンガのひびに至るまで」といわれるほど、元通りに再建されています。昔の絵画やスケッチ、写真などを基に再建したそうです。監督のお話はワルシャワの人の思いにも通じるように感じました。監督は2011年以来、何度も広島に足を運ばれています。その理由は何でしょうか。

片淵 広島に関しては、原爆の映画は数多く作られています。「また東京からよその人が来て、またもう一本広島の映画を作るんだろう」と言われないうにしたかった。唯一無二のものにしたかった。そのために、広島や呉のことを自分のふるさとのようにしていかなければならないと思いました。呉の映画サークルを訪ねてこれまでに調べたことを話した際、そのお一人が「この人が言った呉の地名は、全部イントネーションが合っているから」と信用してくださった。いつの間にかそうしたものまで自分の中に染み込んでいたんですね。

越智 アニメーションで戦争や原爆を描いても、受け手にリアリティーが十分伝わらないのではないかという意見もあります。

片淵 アニメーションが大きな力を持つだろうと思ったのが、すずさんが自分の家や周りで畑仕事をしたり、洗濯物を干したりしている日常生活の風景と、その向こうに戦艦大和などがある巨大な軍事施設であ

る軍港とを一つの世界の中にあるものとして同時に描けることでした。戦争だけが存在しているのではなくて、日常だけが存在しているわけでもない。常に関係している。隣り合わせであったり、戦争自体が日常の上に降ってくるものであったりするわけです。それを直接的に描けるのがアニメーションを使う意義ではないかと。もちろん実写にコンピュータグラフィックスを合わせて作る方法もありますが、アニメーションだからこそより生々しくできると思いました。戦争は人の可能性を奪い取るものです。命を奪われると、その先の可能性が全てなくなってしまうけれど、それだけではない。あんなこともしたかった、こんなこともしたかったという人生への期待が突然絶たれてしまう。すずさんのように絵を描く才能があっても、右手を奪われてしまうということもあります。男性だと兵役に取られて傷つき、人をあやめる側に立たされた方もいらっしゃる。お母さんが生んでくれた時は、輝かしい可能性が目の前にあったはずなのに、それを全て損ねてしまうのが戦争だと思います。

越智 ドイツの哲学者ハイデッガーは、死を「最極限の未了」と表現しています。また、未来の可能性に向かって自らをあおり立てて生きるその方法こそが実存的生き方であるとも述べています。まさしく戦争は、未来の可能性を刈り取るものだろうと私も思います。

ヒロシマへ

片淵 広島大学は平和の大学として注目すべき取り組みをされています。その辺りをぜひお伺いしたいですね。

越智 本学では学生が在学中に平和を考える時間を持ってほしいとの願いから、教養科目に平和科目を設け、原爆や戦争、貧困、環境など約30科目から1科目を選んで必修とし、平和記念資料館などモニュメントに赴くレポートを課しています。各国の大使や政府首脳を招き、平和をテーマに講演していただくピース・レクチャー・マラソンも企画。リトアニアの首相には国の歴史や「人間の鎖」の話などをお話いただき

ました。また原爆の日に合わせて海外の留学生を約2週間広島に招く取り組みも進めています。平和発信を支えるためにクラウドファンディングの形で基金を設立し、吉永小百合さんにメッセージをいただいてパンフレットを作りました。コロナ禍が落ち着いたらもっと直接的に活動する予定です。さらに広島大学では、中国の長春大学などからハンディキャップを持った留学生を積極的に受け入れています。これも広い意味での平和の取り組みです。平和の大学としての使命を、未来に継承していくことが重要だと思っています。

片淵 素晴らしいことですね。広島大学のこれからの大いに期待しています。

越智 最後に、広島と市民に期待することがあればお教えください。

片淵 広島は原爆を直接見聞できる場所です。陸軍被服支廠の保存と同時に「活用」が議論になりました。でも、ピラミッドやスフィンクスを「どう活用するか」と問う人はいません。広島には、これこそが歴史なのだというものがあります。原爆ドームもそうだし、被服支廠もそうです。活用なんて考えずにそのまま残されることが、未来の人のためでもあります。広島の中心部には古いものがほとんどないような気持ちになってしまいましたが、よく見ると当時の墓石がもう一度お墓として利用されたり、戦前に作られて原爆にも耐えた公衆トイレが本川の岸にちゃんと残っていたりする。そうしたものを発見できるのは広島におられる皆さんの特権だと思います。見つけた途端に今の風景と76年前の風景が一致していく。さらに、原爆の前にあった風景と一致させていく。そんなふうに心を使っていただけるとありがたいですね。

越智 コロナ禍の下、オンラインでの対談となりましたが、貴重な示唆をいただきました。ありがとうございました。



広島大学平和企画「芸術から平和を想う」で学生たちに講演する片淵監督



銀泥彩磁かわれ文向付
(第8回現代茶陶展
TOKI織部大賞受賞作品
2015年)

教育学部
大学院人間社会科学部 教授

井戸川 豊

IDOGAWA YUTAKA

専門研究分野

陶芸表現、工芸教育、陶芸材料学



陶芸における伝統技術や 原材料を探究し、 表現の可能性を発信する。



青はコバルト、茶は鉄、白は長石と
いうように、陶磁器の彩色には鉱
物由来の顔料を使う。磁器の焼成
温度は1250℃(陶器は磁器よりや
やく900℃〜)。地球深部の高
圧・高温の環境下で生成された鉱
物だからこそ、焼成に耐えて鮮や
かな色で器を彩ることができる。

深く内包されています。このこと
を踏まえて、過去の陶芸技術と
原材料を調査・分析し、現代の視
点から捉え直して、装飾表現の
技法研究を行っています。

まったりする問題があります。また、理想の色が
でなかったり、窯の中で作品が割れてしまっ
たりして、苦労は絶えませんが、これらの問題を克
服するために、焼成に適した顔料の定着法の開
発に挑んでいます。

美術は時代の変遷とともにその役割も
多様に変化してきました。その中に
あっても、歴史に裏づけられた伝統にもとづく
陶芸の技術や精神は、人間にとって最も身近に
ある芸術として常に生活の場で機能的にはた
らいてきました。原材料と伝統技術、そして作り
手の表現が密接に絡み合って制作される陶芸
作品は、人々の生活の中で輝きを放ち大きな感
動を与えるものです。

特に日本の陶芸には、長い制作の歴史があ
り、制作技術の進歩によって大きく発展してき
ました。それは、原土から焼成までの制作工程
における表現の幅広さを物語っているといえま
す。古代人の祈りの装飾が縄文土器を生み出し、
茶の湯といった日本独自の芸道文化が安土
桃山の陶器を作り出しました。そして、先人たち
のたゆまぬ努力が現代の多種多様な陶磁器へ
とつながってきました。このような陶芸の発展
には、歳月の中で磨かれ、受け継がれた技法が

具体的には、伝統的な陶磁器
用の色絵具による描画法を土台として、新たに
金・銀・プラチナといった貴金属を組み合わせた
描画法に焦点を当て、新たな表現技法を開発
しています。この技法の魅力は、陶磁器が持つ
清潔感と多彩な色彩とが織りなす美的効果に
あります。しかし、陶磁器は窯に入れて高温で
焼き上げることで完成する造形物なので、金・
銀・プラチナ・色絵具などの顔料それぞれの溶
解温度の違いや化学反応によって、窯の中で顔
料が器の表面から剥がれたり、色が消えてし

研究が達成すれば、陶磁器の質感に新たに
貴金属の高貴さと、彩り豊かな色絵具の組み合
わせによる斬新な色感の世界を構築するととも
に、独創的な装飾技法が確立され、陶磁器の表
現に新たな1ページを切り開くことになるで
しょう。そして、得られた成果は、陶芸作品とし
て社会に発信します。また、大学の工房では、教
員と学生と一緒に研究し、得られた知見を、講
義や実習を通して次の世代を担う学生たちへ
伝えることで、研究と教育が相乗効果を生むよ
うな取り組みを行っています。



(左) 銀泥彩磁鉢
(第62回日本伝統工芸展
高松宮記念賞受賞作品
2015年)
(右) 銀泥彩磁羽黒蜻蛉文鉢
(第66回日本伝統工芸展
入選作品 2019年)

(背景写真)
井戸川教授の作陶に欠かせない「銀泥彩磁(ぎんでいさいじ)」に用いる銀粉。
銀泥彩磁は銀粉とフノリを混ぜて作る銀泥を磁器の全面に施す装飾技法だ。

第一線の研究を支える、

附置研究所

原爆放射線医科学研究所

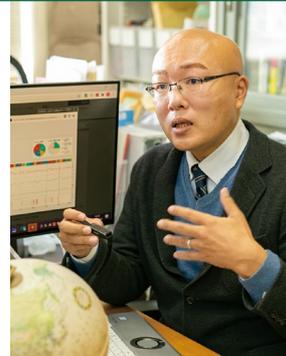
ゲノム科学などの最先端の基礎研究から、再生医
療など高度な臨床展開に至るまで「放射線の人体
影響」の総合的な研究を推進しています。被爆者
の医療を半世紀にわたって行う一方、放射線災
害・医科学領域の研究拠点として、全国の研究
者・医師と活発な共同研究を進めています。



学内共同教育研究施設

- ナノデバイス・バイオ融合科学研究所
- 高等教育研究開発センター
- 情報メディア教育研究センター
- 自然科学研究支援開発センター
- 森戸国際高等教育学院
- 教育開発国際協力研究センター
- 保健管理センター
- 平和センター
- 環境安全センター
- 総合博物館
- 北京研究センター
- 宇宙科学センター
- 外国語教育研究センター
- 文書館

データ分析を用いて、異分野融合のハブに。



経済学部
大学院人間社会科学研究科 教授

角谷 快彦

KADOYA YOSHIHIKO

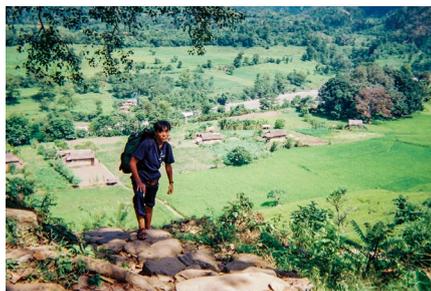
専門研究分野

医療経済学、社会保障論、
金融リテラシー研究



心拍のリズムの揺らぎを読み取るウェアラブルデバイス。腕に装着して得られる心拍の変動データから感情変化を可視化する、つまり何をしている時にストレスを感じるかを調べることが、例えば職場における高ストレス作業は何かを割り出すことができる。

社 会課題の多くは、単一分野からのアプローチでは解決が難しいと思ったのが現在の研究を始めた契機です。私は、学部生時代にバックパッカーとして世界数十カ国をまわり、その後も内閣府の事業で世界4大陸を船で訪れ、タイ、カナダ、オーストラリアではそれぞれ1年以上の生活もしました(オーストラリアは4年半)。海外に友人も多く、1年以上一緒に暮らしたことがある仲間の国籍は130を優に越えます。自分なりにいろいろな現実を見てきて、人々が抱える課題の多くは、例えば、経済学、医学、工学といった単体の分野の視座だけで解決するのが難しいと感じるようになりました。



多くの国・地域を旅したバックパッカー時代。

研究者になろうと思ったのは20代半ばです。米国の農業支援NPOでインターンをしていた時に、職場にやって来た地元の研究者達が統計学を使ってマーケティングに協力するのを見て「これだ」と思いました。お金がなかったので、全額奨学金を得るのは大変でしたが、海外で博士号をとって研究者になることにしました。医療経済学を専門としたのは、高齢化が進む母国・日本で医療・介護制度を効率的かつ公平に運用する方策を探ることが重要だと考えたからです。



ラボの一コマ。分析が政策提言に繋がる可能性も。

しかし、私の研究対象はそれだけにとどまりません。経済学者として培ったデータ分析能力を武器に、医学や工学等、多くの分野を融合するハブとして、社会的課題に対する具体的な解決策を提示したいと思っています。私は常に多くの研究を同時に抱えていますが、実施中のものを含め取り組んできた研究は次を含みます。1) 民間企業の協力を得て調達した生体計を使った感情ステータスと労働生産性に関する研究、2) タクシー会社等の協力を得て進めているドライバーの感情ステータスと安全運転に関する研究、3) 広島県・広島銀行と共同で行った、プレミアム付き商品券政策の受益者偏重のメカニズムに関する研究、4) 工学部の栗田雄一先生等が進めている触感の研究をマーケティングに応用した共同研究、5) 医学部の前田慶明先生等が進めている中高年の尿失禁予防の経済

波及効果を推計する共同研究、6) 他大学の医学者・心理学者等との特殊詐欺被害対策の共同研究、7) コロナ禍での人々の孤立に関する研究、8) 新型コロナワクチン接種の抵抗感に対する行動変容分析等々、紙面の都合で紹介しきれませんが、経済学を応用したデータ分析手法で、異分野融合のわくわくするようなプロジェクトをたくさん行っています。

広島大学には「がんばっている若い人を応援しよう」という気風が強くあるように思います。私自身も国際共同研究のコンソーシアムや日本学術会議等を通じて、研究成果を具体的な政策提言につなげる機会を多くいただきました。これからも「自分もわくわくする、社会に役立つ研究」を続けたいと思います。こうした思いを共有してくれる国内外のさまざまな分野の学生や研究者、そして企業、行政機関等とも積極的に連携していきます。



角谷教授がリーダーを務める医療経済研究拠点は、学内で数少ない自立型研究拠点および最先端国際プログラムの一つ。

特色ある研究施設

全国共同利用施設

放射光科学研究センター

光速に近い電子が電磁石によって進む方向を変える時に「放射光」が発生します。この光は強力で、しかもさまざまな波長を含むことから「夢の光」と呼ばれています。本センターの研究成果は『Nature』や『Science』などのトップジャーナルに掲載されています。



- スポーツセンター
- HiSIM*研究センター
- 現代インド研究センター
- ダイバーシティ研究センター
- 両生類研究センター
- トランスレーショナルリサーチセンター
- 防災・減災研究センター
- 脳・こころ・感性科学研究センター
- ゲノム編集イノベーションセンター
- デジタルものづくり教育研究センター
- AI・データイノベーション教育研究センター

*HiSIM(Hiroshima-University STARC IGFET Model)は、広島大学が半導体理工学研究中心(STARC)と共同で開発した回路設計用トランジスタモデル



医学部
広島大学病院感染症科 教授

大毛 宏喜

OHGE HIROKI

専門研究分野

感染症学、消化器外科学



大毛教授らの研究チームは、人体への影響が低いとされる、中心波長222nmの紫外線に新型コロナウイルスの不活化効果があることを世界で初めて確認したと2020年9月に発表。222nm紫外線を照射する装置「Care222」(ウシオ電機株式会社)を用いて、新型コロナウイルスに30秒間照射すると99.7%が不活化した。

紫外線に、細菌や新型コロナウイルスを不活化する力があることを実証。広島大学は発想を形にする、“夢の実験場”だ。



MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)培地への紫外線照射の有無によるコロニー形成を比較。左が紫外線照射をした培地、右が紫外線照射をしなかった培地。

病 室のベッドの周りやドアノブなどには、病原微生物が付着していることがあります。目に見えないので人の手や道具を介して他の患者にうつる、いわゆる院内感染の原因になります。

ではどうやって病院の中をきれいに行っているかというと、手作業で拭いているのです。100年以上進歩もなく、人手に頼って拭き掃除をしているなんて不思議な話です。

紫外線は昔から微生物に有効であることが知られていました。かつて病院の中で使用されていた時期もあったのですが、効果がはっきりせず使われなくなりました。最近になって紫外

線技術が進歩したので試しに使ってみました。

MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)という院内感染の原因となる細菌に感染した患者さんが退院した後の病室で、掃除前、従来通りの手作業による掃除の後、紫外線照射を行った後、の3つのポイントで病室内の培養検査を行いました。その結果、掃除前にたくさんいたMRSAは、拭き掃除によって半減し、さらに紫外線照射でほとんど検出されなくなりました。紫外線の有効性を証明できただけでなく、私たちが普段行っている拭き掃除は思いの外きれいになっていないことがわかったのです。

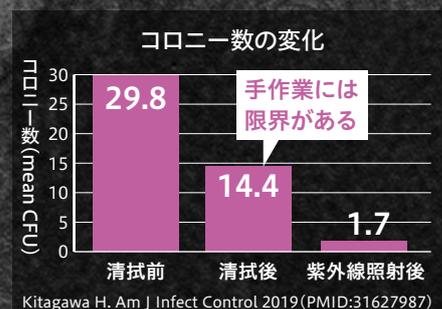
細菌だけでなく、新型コロナウイルスについても研究を行いました。すると紫外線を10秒間照射しただけでウイルスは約9割が不活化し、30秒後には検出されなくなりました。

このような興味深い結果が得られたのは、広島大学という特別な環境のおかげです。広島大学には、病院という実際に患者さんがいて、病原体が存在する現場があります。そして研究を行う上で欠かせない、細菌学やウイルス学の専門家と研究室が同じキャンパスの中に存在します。そしてさまざまな企業と共同で研究を行うため、最新技術の評価が行えます。

手作業での拭き掃除のように、困っているけど長年変わらないことが世の中にはたくさんあ

ります。解決の糸口は会話の中にあります。他の研究者や企業の人との雑談はとても刺激的で、いろいろなアイデアが頭に浮かびます。アイデアをすぐに検証できるのが大学の良いところです。実験が上手くいかないこともありますが、広島大学には多くの専門家がいて、相談する道が開けます。

発想を形にして、世の中で役立つものに育てるのは、とても楽しい作業です。紫外線技術は病院でスタートした研究ですが、今後公共の場や家庭をはじめとして幅広い領域で役に立つ手法と期待しています。身の回りのふとした疑問や不便と一緒に解決してみませんか。広島大学は夢を実現する実験場です。



清拭前、清拭後、紫外線照射後のMRSAコロニー数の変化を示したグラフ。手作業での清掃には限界があることがわかる。

(背景写真)
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)電子顕微鏡写真
広島大学大学院医系科学研究科ウイルス学 助教 東浦 章史 撮影

世界トップレベルの

ネットワーク型研究拠点

広島大学FE^{*}・SDGsネットワーク拠点

Network for Education and Research on Peace and Sustainability

広島大学FE・SDGsネットワーク拠点(NERPS)は、本学に限った組織ではなく、広く世界に開かれたネットワーク拠点であり、次の3つの特徴を持つ教育研究拠点になることを目指しています。

- 1 国際通用性のある研究力に裏づけられた平和、地球環境、SDGsに關係する研究拠点
- 2 人文社会科学の研究者も参加する問題解決型教育研究拠点
- 3 個人、NGOs、企業、政府、国際機関など多様なアクターがグローバルに連携する教育研究拠点

1 | *FE:future earth(フューチャーアース)の略。地球環境研究に関わる科学者の国際的なネットワークです。



NERPS
(NERPSロゴ)

SDGs17の目標のうち、「目標4(質の高い教育をみんなに)」、「目標16(平和と公正をすべての人に)」に優先的に取り組み、SDGs全目標に貢献するという姿勢をイメージしたデザインです。



国によらず 質の高い助産ケアを受け、 新しい命を迎えられる世界へ。



タンザニアの妊産婦さんの健診ボランティア



医学部
大学院医系科学研究科 教授

新福 洋子

SHIMPUKU YOKO

専門研究分野

国際保健看護学、助産学



助産師たちと開発したアプリを使用



妊婦と家族への集団保健指導

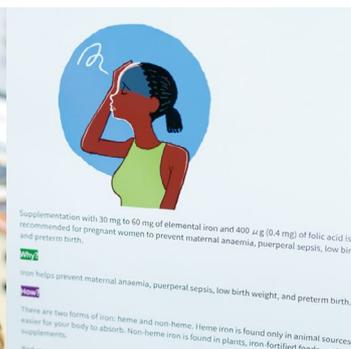
自分が生まれた時のことを聞いたことがありますか？ 妊娠・出産はその度に違うもので、女性一人ひとりに物語があります。日本の場合、妊娠・出産で女性が命を落とすことは非常に稀です。しかしながら、アフリカ、特に私の研究フィールドであるタンザニアでは、日本の100倍以上の割合で、妊娠・出産による死亡が起きています。それを防ぐには、妊婦健診で母子の状態を適切にアセスメントして情報提供し、出産時にケアに当たる助産師が十分な知識を持っていること、また助産師が女性に落ち着いてケアが提供できるような環境の整備が必要です。また、女性に一方的に情報を伝えるだけではなく、適切な時期に病院に来てもらうにはどうしたら良いかを理解してもらい、具体的な準備をしてもらうことも必要です。

タンザニアで助産師教育と妊産婦教育の改善、これら二つを進めるために、現地の大学院で教育を行うことに加え、研究で女性たちの声を聞き、科学的な手法を用いてまとめました。その後、女性の声を反映する形で、環境に合わせた教育プログラムを開発し、妊娠・出産に関する危険なサインや準備を伝えることを行いました。結果、教育を受けた女性と家族は、緊急時に

行く医療施設を知っていたり、妊婦健診に行く回数が増えたり、家族の付き添いを決めていたこと、また女性や生まれた子どもに合併症が少ないことがわかりました。教育効果が見受けられたので、これを国の中でどう広げたら良いかと考えた時に、タンザニアでは昨今スマートフォンの普及率がとても伸びていることから、教育アプリの開発を考えました。アプリ開発のベンチャー企業と連携し、助産師教育アプリと妊産婦さん向けの電子母子手帳を開発しています。助産師は、この新しい教育アプリをとても喜んで使ってくれています。

世界保健機関(WHO)はフローレンス・ナイ

チンゲールの生誕200年の記念である2020年を「Year of the Nurse and Midwife (看護師・助産師の年)」として定め、2021年6月までさまざまなイベントを開催しています。その一環として、「100 Outstanding Women Nurse and Midwife Leaders (世界の卓越した女性の看護師・助産師のリーダー100人)」に日本で唯一選んでいただくという経験をしました。これまで苦勞し、楽しみながら続けてきたタンザニアでの教育研究活動が評価されたことは、非常に光栄な経験でした。今後もその名に恥じることなく、世界中の妊産婦さんたちにケアを届ける教育研究活動を続けていきたいと考えています。



(左) 今後はエチオピアやエジプト、ザンビア、マラウイなど、アフリカの他地域にも研究フィールドを広げ、助産ケアに尽力したいと語る新福教授。
(右) 開発中のアプリでは、例えば妊娠中に摂取すべき鉄分について、なぜ鉄分が必要なのか(Why)、必要な鉄分を摂取するにはどうすればよいか(How)といった実践的な内容をわかりやすいイラストとともに示している。

研究拠点の創出へ

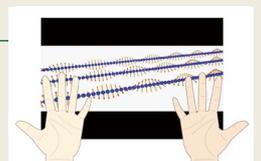
自立型研究拠点

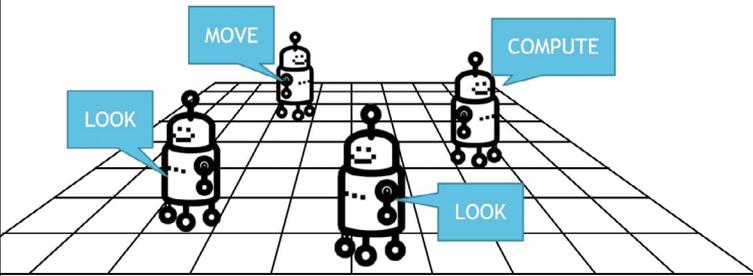
活発な研究活動を展開する研究拠点を支援し、さらなる発展を促すことで世界的研究拠点の継続的な創出を目指します。

- 再生医療研究拠点
- プレート収束域の物質科学研究拠点
- 広島大学医療経済研究拠点
- エネルギー超高度利用研究拠点
- 広島大学健康長寿研究拠点
- キラル国際研究拠点
- 極限宇宙研究拠点
- 基礎研究を畜産技術開発につなげるトランスレーショナル型研究拠点
—日本型(発)畜産・酪農技術開発センター—
- 創業・バイオマーカー拠点
- うつ病の革新的診断・治療法開発研究拠点
- 窒素循環エネルギーキャリア(Nキャリア)研究拠点
- 社会実装指向型 HiSENS拠点
- クロマチン動態数理研究拠点
- 肝臓・消化器研究拠点

右左の謎を解き明かす (キラル国際研究拠点)

右手と左手はよく似ているにもかかわらず、全く同じではありません。この違いをキラルと呼びます。右手系だけで作った磁石は普通の磁石と全く異なることが我々の研究で明らかになっています。このキラル磁石の問題は、生物の分子の問題や高エネルギー物理学の問題等とも共通性があることがわかりつつあります。これらの問題を基礎科学の目から解明しています。





ロボット：観測、計算、移動を繰り返す自律分散ロボットシステム

情報科学部
大学院先進理工系科学研究科 准教授

亀井 清華

KAMEI SAYAKA

専門研究分野

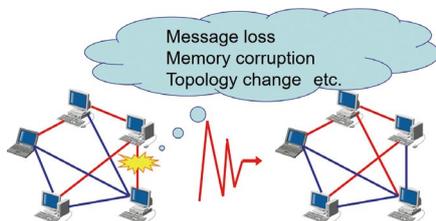
分散アルゴリズム、推薦システム



ネットワーク上の多数の計算機を、円滑に協調動作させる。

私の専門分野は分散アルゴリズムと推薦システムの開発です。実はこれらはまったく別の分野ですが、興味の赴くままに研究を進めていったら、この二本柱になりました。

まず、分散アルゴリズムは、分散システムのためのアルゴリズムで、分散システムとは通信機能を持つ複数の計算主体が通信リンクで繋がれているシステムを言います。インターネットなどのネットワークも分散システムの一つの例です。計算主体は、パソコンなどの計算機であったり、スマートフォンなどのモバイルデバイスであったり、通信機能を持ったロボットである場合もあります。そのようなネットワークで結合された多数の計算主体で構成される分散システム上で、効率よく問題を解決するための方法が分散アルゴリズムです。分散システム上の計算主体は、インターネットなどの大規模なネットワークを考えると、システム全体の状況を常に正確に把握して



自己安定：
一時故障に対する耐性を持つ自己安定分散アルゴリズム

おくことは困難です。分散アルゴリズムは、自身に直接繋がれている計算主体の部分集合と自身の状態だけを基にしてどう動くか、を表します。つまり、各計算主体は、システムの局所的な情報を基に動きますが、結果としてシステム全体としてうまく協調動作できるように分散アルゴリズムを設計しておく必要があるわけです。

また、システムの規模が大きくなるにつれて、計算主体や通信リンクが故障したり、計算主体が移動したりすることでネットワーク形状が変更されるといったさまざまな動的な変化が発生します。それらの変化が起こったとしてもサービスを円滑に提供し続けることのできるような理論的な仕組みを考えています。あらゆる状況を考え、試行錯誤を繰り返すのは苦しい時

間ですが、うまく動くことを理論的に証明できた時はとても嬉しく、こうした喜びが研究の醍醐味だと思います。

一方の推薦システムの開発では、主にSNSやレビューなどのテキスト情報を用いた推薦システムを考えています。例えば、ホテルの予約サイトやAmazonなどの電子商取引サイトでは各商品や各店に対する利用者からのレビューがたくさん投稿されています。ですが、この中から自分の価値観に合うものを見つけるには、大変な労力が必要となることもあります。そこで、どのレビューを読めば良いかや、読まなくても自分に合った商品は何かなどを推薦してくれるシステムの設計が求められるわけです。また、TwitterなどのSNS上にも商品の口コミや、観光地の情報など、推薦システムに活用できそうな情報がたくさんあります。大量の情報の中から、それらの有用な情報をいかに拾い上げ、有効活用するか、ということに興味を持ち、開発を進めています。



ももとはは社会科の教員志望だったという亀井准教授。高校時代に数学の楽しさを知り、プログラマーだった父親の勧めもあって工学部へ進学後、博士課程に進み大学教員、研究者に。「大学の研究者は、学生への授業や指導にも携わるので、当初の志望と重なる面がある。自分の可能性を決めつけずに何にでも挑戦してみることで、思わぬ道が開けることがあると実感している」と語る。



観光地推薦システム：観光地とそれらを結ぶ経路を推薦する観光ルート作成支援システム

世界トップレベルの研究拠点の創出へ

インキュベーション研究拠点

自立した世界的研究拠点へと成長する可能性のある研究拠点を選出し、重点支援を行います。

- ポリオキシメタレート科学国際研究拠点
- オルガネラ疾患研究拠点
- 都市-農村流域圏の健全循環創成 (SATO NET創成)
- 次世代太陽電池研究拠点
- MBR拠点
- 「光」ドラッグデリバリー研究拠点
- 教育ビジョン研究センター
- 次世代を救う広大発Green Revolutionを創出する植物研究拠点
- スマートバイオセンシング融合研究拠点
- 日本食・発酵食品の革新的研究開発拠点
- 日本食の機能性開発センター

次世代の教育をデザインする 〈教育ビジョン研究センター〉

広島大学教育ビジョン研究センター(略称EVRI)は、社会変革・教育変革・知識生成・学びの権利を追究し、ヒロシマ発、EVRI発の「育てる」「学ぶ」を支える理論・政策・実践・環境を”By EVRI For Everyone”(すべての人のための教育の実現を目指す)の精神で提案し、教育デザインに関する研究・開発を推進していきます。





総合博物館 准教授

清水 則雄

SHIMIZU NORIO

専門研究分野

動物生態学、博物館学



オオサンショウウオは、岐阜県以西の西日本を中心に生息する世界最大級の両生類・日本固有種。前肢の指は4本、後肢の指は5本で、人間の手と似た形をしている。

守れ！オオサンショウウオ。消滅を回避する保全モデルを構築する。

国の特別天然記念物オオサンショウウオの調査研究・保全活動を、大学・地域・自治体と協働して実施しています。またオオサンショウウオを地域資源(展示物)として、地域全体を博物館とみなす「東広島エコミュージアム」活動を推進し、里山とオオサンショウウオを持続的に守っていくことを目指しています。

国の特別天然記念物は「生きた国宝」とも称される我が国を代表する生物です。しかし、実際に地域に足を運び調査をすると、オオサンショウウオが抱える大変な状況が見えてきました。人間が作った堰堤などで個体群が分断され、繁殖に参加できない個体、餌不足から痩せて死んでしまう個体、田へ流失する幼生がいました。全国的には外来種との交雑種も増加しており大ピンチです。その上豪雨災害の急増で、上流のオオサンショウウオの大半が流出し、さらにピンチは拡大。もう待たない状況です。

オオサンショウウオを守るには「流域全体の保護モデル」が必要です。まずは①流出個体・痩せ個体の保護、②交雑の有無・性別を確認し、個体登録を行い繁殖適地へ放流、③幼生の育

成が急務です。次に④人工堰堤にスロープをつけ自発的な移動を可能にすること、⑤スロープの効果を調査で検証することが重要です。さらに将来に向け、⑥オオサンショウウオの問題を共有する普及活動も大切です。

このような活動には地域の理解と協力が必須です。博物館を通じた野外観察会や講演会、出前展示、LINEスタンプやグッズの開発、小学生用の副読本を出版するなど、幅広い活動を通じて認知度の向上を進めています。「地域資源(観光資源)」として地域の方々に「利益の見える化」ができれば、より多くの理解が得られ、結果としてオオサンショウウオの保全が進むと私達は真剣に考えています。近年では地元企業が

らの支援も始まっています。過疎化に悩む里山ですが、大学と地域、自治体、そして企業が連携することで、エコミュージアムによる地域の活性化と、自然再生の両立を実践する新たなモデルも創れるのではと期待しています。

フィールドに出ると自然の中に宿る多くの秘密が見えてきます。それに気づき、仮説を立て、データを集め実証する楽しさがあります。生きものが対象のため思うようにいかないことも多いですし、雨の日も雪の日も野外でデータを取ります。でもそれが楽しい！

我々人間も宇宙船「地球号」の一員で、生態系を構成する一つの生きものです。SDGsが叫ばれる今日、他の生きものを知り、理解することは我々自身のためにもなります。画面だけでなく、野外へ出て自分の目で見て、手で触れる実践力を身につけること。また、地域の方々との交流で学ぶことも大切。フィールド研究では良いコミュニケーションなくして、良い研究は生まれません。これからも里山を調査・研究の場として地域と協働し、オオサンショウウオの保全に貢献していきたいと考えています。



清水准教授がオオサンショウウオの保全研究を始めて今年で10年。始まりは豊栄町で30年にわたって独自にオオサンショウウオの調査を行っていたお年寄りとの出会い。その方の遺志を継ぎ、日々フィールドでの研究や地域への情報発信に邁進している。



(左)出前授業で子どもたちが発案し製品化された裾付。(中)副読本『オオサンショウウオがいるらしい』(東広島市教育委員会、税込100円)。(右)「Amazonネクパブ PODアワード2020」でグランプリに輝いた『オオサンショウウオと暮らすための50のこと』では、4コマ漫画と専門的な解説を組み合わせ、より広く、深くオオサンショウウオのことを伝えている。

(背景写真)「オオサンショウウオの宿」(東広島市豊栄町)で保護されているメスの個体(全長75cm、体重4kg)。

広大研究TOPICS 2020-2021

2020年10月、AI・データインペーション教育研究センターを設置

AIとデータサイエンスで、地域のイノベーションに貢献

ポストコロナの社会では、デジタル化・スマート化の流れが一層加速することが予想されます。広島大学では、地域企業や行政機関との共同研究や社員・職員教育を推進するために、東千田キャンパスに「AI・データインペーション教育研究センター」を設置しました。AI・データサイエンス・ICT教育研究の拠点として、地域のイノベーション創出や地方創生に貢献することを目指します。



本センターが設置された東千田未来創生センター(東千田キャンパス)

2021年3月、国立特別支援教育総合研究所と協定締結

一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育に向けて

広島大学は、日本唯一の特別支援教育に関するナショナルセンターである国立特別支援教育総合研究所と包括連携協定を締結しました。西日本における特別支援教育やインクルーシブ教育(障害のある子どもと障害のない子どもが共に教育を受けること)に関する課題を解決し、障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに対応した教育の実現に向けて、共同研究や地域支援に取り組んでいきます。



国立特別支援教育総合研究所との包括連携協定調印式

学生の意欲に応える

学部教育

多彩な学部を擁し、幅広い教養と専門分野の知識を身につける

HiPROSPECTS®

広島大学独自の教育システム
「到達目標型教育プログラム」

ハイプロスペクツ ※HiPROSPECTS(Hiroshima University Program of Specified Education and Study)は広島大学の登録商標です。

興味・関心に合わせて学べる 3つのプログラムで編成

入学した学部・学科の「主専攻プログラム」、他の主専攻プログラムの概要も学習できる「副専攻プログラム」、特定分野の学習や資格取得を目指す「特定プログラム」を組み合わせ、自らの興味・関心に応じて学ぶことができます。

それぞれのプログラムで 到達すべき目標が見える

プログラムごとに卒業までに身につけておくべき知識や能力を到達目標として学生に明示し、定期的に到達度を確認します。目標を見据え、一人一人が着実に力をつけることができます。

主専攻 プログラム

卒業時に学士号
を取得

副専攻 プログラム

他の主専攻プログラム
を履修する

特定 プログラム

特定分野の学習や
資格取得を目指す



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/prog>

TOEIC®L&R IPテスト

社会的・国際的に通用するスコアで英語力を把握

入学時と卒業時の2回、全学一斉に実施します。社会的、国際的に広く通用するスコアを使って、学生が自らの英語運用能力を確認することができます。本テストのスコアは習熟度別クラス編成や本学英語教育のさらなる改善にも活用しています。

大学教育基礎科目

大学で知的活動を行うための能力を育む全学必修科目

4つの科目区分(平和科目・大学教育基礎科目・共通科目・基盤科目)からなる教養教育の中でも、大学教育基礎科目は全学必修。教養ゼミ、大学教育入門があり、大学における知的活動の基礎を身につけます。

- 総合科学部
- 文学部
- 教育学部
- 法学部
- 経済学部
- 理学部
- 医学部
- 歯学部
- 薬学部
- 工学部
- 生物生産学部
- 情報科学部
- 特別支援教育
特別専攻科

教育システム

大学院教育

学際的・融合的研究を通して、
異なる専門分野への理解と複合的な視点を備える

博士課程教育

- 人間社会科学研究科
- 先進理工系科学研究科
- 統合生命科学研究科
- 医系科学研究科

教育研究環境

世界トップレベルの先端的研究を目指す教員・施設

世界トップレベルの総合研究大学を目指し、特色と個性の光る基盤的・先端的研究を展開しています。各研究科には幅広い分野をカバーする研究室が設置され、学生たちは多彩で経験豊富な教員陣の下で最先端の研究に邁進しています。各研究科附属の研究施設とも緊密に連携し、専門性の高い教育・研究活動を行っています。

大学院共通科目

現代社会で活躍するための 基礎知識を獲得

広い視野と社会への関心や問題意識を養成し、それぞれの専門分野が「持続可能な発展を導く科学」としてどのような貢献が可能であるかの考察を深め、最近の社会システムの進展を正しく把握し、現代社会で活躍するための基本的な知識を身につけるために「大学院共通科目」を提供しています。

● 持続可能な発展科目

国際的目標である持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs) を理解し、持続可能な発展を導く科学を創出する能力および社会のさまざまな課題を解決する能力を身につけます。

● キャリア開発・データリテラシー科目

最近の社会システムの進展を知り、これからの時代に必須な知識を身につけ、現代社会の課題に具体的に取り組み、解決に必要な知識・技術を使うことができる能力を修得します。

卓越大学院プログラム

社会にイノベーションをもたらす 博士人材を育成

新たな知の創造と活用を主導し、次代を牽引する価値を創造するとともに、社会的課題の解決に挑戦して、社会にイノベーションをもたらすことができる博士人材を育成することを目的として、本学が持つ深い専門性と先端的知見、産学連携による人材育成を通して、新産業の創出を担う人材を養成します。

● ゲノム編集先端人材育成プログラム

(平成30年度 文部科学省採択)

研究科を横断する2コースによるゲノム編集を使いこなせる人材・ゲノム編集を産業に直結させる人材を育成

- ライフサイエンスコース (5年制)
- メディカルコース (4年制)

博士課程リーダー育成プログラム

グローバルに行動する、次代のリーダーを養成

従来の学問分野・研究領域の枠組みを超えて、新たな知を創造するグローバルリーダーを輩出することを目的とした研究科を横断する新たな学位プログラムです。本学が培ってきた深い専門性を基盤に、独創力、俯瞰力、行動力、問題解決能力を備えるための授業科目や、広島大学マインドを身につけるための共通科目群などを配置。独創的に課題に挑み、幅広い知識をもとに事象を俯瞰し、グローバルに行動する人材を養成します。

● 放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

(平成23年度 文部科学省採択)

研究科を横断する3コースによる放射線災害復興専門家の養成

- 放射線災害医療コース (4年制)
- 放射線環境保全コース (5年制)
- 放射線社会復興コース (5年制)

● たおやかで平和な共生社会創生プログラム

(平成25年度 文部科学省採択)

研究科を横断する3コースによるオンサイト・リバーサイノベーションを推進するリーダーの養成

- 文化創生コース (5年制)
- 技術創生コース (5年制)
- 社会実装コース (5年制)

世界をキャン

ヨーロッパへ
136人
ヨーロッパから
42人

- アゼルバイジャン
- イタリア
- ウズベキスタン
- 英国
- オランダ
- カザフスタン
- キルギス
- タジキスタン
- ドイツ
- フィンランド
- フランス
- ブルガリア
- ポーランド
- リトアニア
- ロシア
- スペイン
- ハンガリー
- スイス
- チェコ
- ラトビア
- マルタ

アフリカへ
4人
アフリカから
65人

- ウガンダ
- エジプト
- ガーナ
- ガボン
- カメルーン
- コートジボワール
- ザンビア
- 赤道ギニア
- セネガル
- チュニジア
- ナイジェリア
- ナミビア
- ブルキナファソ
- マラウイ
- 南アフリカ
- モーリシャス
- モザンビーク
- リベリア
- ルワンダ
- レソト

中東へ
3人
中東から
33人

- アフガニスタン
- イエメン
- イスラエル
- イラク
- イラン
- オマーン
- シリア
- トルコ
- パレスチナ

アジアへ
388人
アジアから
1,938人

- インド
- インドネシア
- 韓国
- カンボジア
- シンガポール
- スリランカ
- タイ
- 台湾
- 中国
- ネパール
- パキスタン
- バングラデシュ
- フィリピン
- ベトナム
- マレーシア
- ミャンマー
- モンゴル
- ラオス
- ブータン
- 香港

広大から世界へ

世界44カ国・地域へ845人を派遣 (令和元年度実績)



START+プログラムと
HUSAプログラムで
リトアニアへ

リトアニアには短期留学のSTART+プログラムで初めて渡航し、現地の街並みや雰囲気に魅了され、再び同じ大学への長期留学を決意しました。留学中は積極的に学内外の交流の場に足を運び、多様な国籍の友人ができました。またリトアニアの歴史の授業を受講し、この国への理解を深めました。やりたいことに全力で取り組んだ留学は一生の宝です。

法学部法学科 令和3年3月卒業 柳 千晶



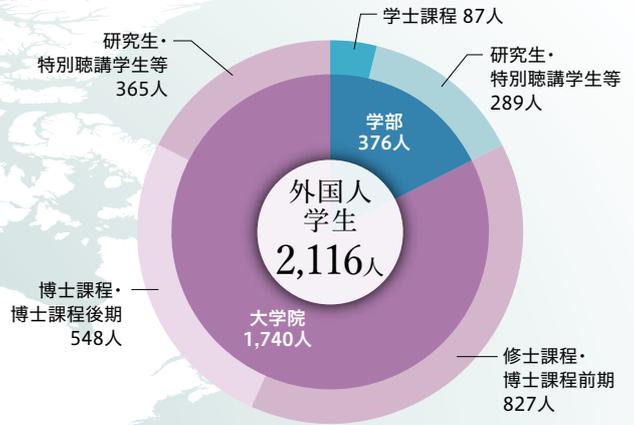
Global Peace
Leadership Program
を履修し
アメリカ、そしてドイツへ

私は2年次にアメリカ、3年次にドイツへ留学しました。ドイツではビアフェスティバルで見知らぬ人と肩を組んで踊ったり、国連職員と親友になったり、鍵を失くして大家さんと大喧嘩したり…。留学先のあらゆる経験に未熟さを教えられ、努力を続けるよう背中を押されました。広島大学には可能性が詰まっています。合格のその先を見据えて、日々の勉強を頑張ってください。

総合科学部総合科学科 4年 廣瀬 詠太郎

パスに学ぶ

広島大学は、世界をキャンパスとする国際的な教育・研究拠点として、世界各地の教育研究機関と交流協定を締結しています。世界中から多数の学生が広島大学に集い、また広島の地から広く世界へ、多くの学生を派遣しています。



- アメリカ合衆国
- カナダ



- オーストラリア
- ニュージーランド



- コスタリカ
- コロンビア
- ブラジル
- ベルギー
- メキシコ
- ボリビア
- パナマ

世界から広大へ

世界71カ国・地域から2,116人を受入(令和元年11月1日現在)

マラウイから広大へ
広大にはより良い世界を
創る熱意を持つ人が
世界中から集まっている



広島大学での学びは、私の中で最も満足いく経験です。広島大学では、多くの取り組みによって、留学生、日本人学生両方にとって良い環境が創出されています。多様なプログラムやワークショップ、クラブ活動が行われており、「より良い世界を創る」という共通の熱意を持った多様な人材が、世界中から集まっています。広大は、知性と人格を備えた豊かな人間性を培う意欲を与えてくれる場所です。

統合生命科学研究所 博士課程後期 統合生命科学専攻 3年
ROWLAND MAGANIZO KAMANGA (マラウイ)

インドネシアから広大へ
自らの研究だけでなく
日本人学生や日本文化と
触れ合う機会を得られる



博士課程後期学生として工学研究科輸送・環境システム専攻に在籍しています。広島大学で自らの研究だけでなく、日本の文化や社会についても多くのことを学んできました。広島大学は、異文化交流プログラムを通して、日本人学生や日本文化と触れ合う機会を積極的に提供しています。また留学生に対しては、自国の文化や伝統を紹介する機会を提供しています。みなさんも、広島大学で共に学び、交流しませんか。

工学研究科 博士課程後期 輸送・環境システム専攻 令和3年3月修了
SEPTIA HARDY SUJIATANTI (インドネシア)

学部・研究科ごとに教育目的や目標に沿ったアドミッション・ポリシーを掲げ、一般選抜のほか、個々の意欲や個性を尊重した広島大学光り輝き入試などを実施します。

求める学生像／広島大学のアドミッション・ポリシー(学士課程)

広島大学は、次のような人の入学を期待します。

- 1 豊かな心を持ち平和に貢献したい人
- 3 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- 2 知の探究・創造・発展に意欲のある人
- 4 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

各学部・学科などでは、これらの人を受け入れるため、それぞれのディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、入学者に求める能力やその評価方法を、知識・技能、思考力・判断力・表現力や、主体性を持ち多様な人々と協同しながら学習する態度と関連づけて明示し、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

学部入試方式

高校生から社会人・中高年層まで、多くの人に広く門戸を開いています。

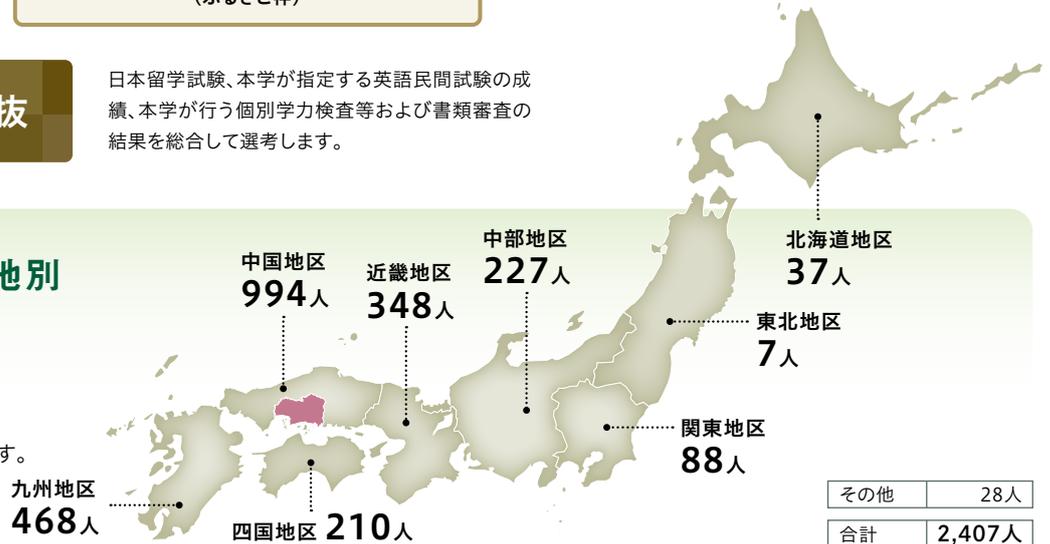


3 外国人留学生選抜

日本留学試験、本学が指定する英語民間試験の成績、本学が行う個別学力検査等および書類審査の結果を総合して選考します。

出身高等学校所在地別 学部入学者状況 (令和3年度)

全国各地から、確かな学力と豊かな個性を持った学生が集います。



国費・政府派遣等留学生を含みます。

修学・生活・進路・経済面において、学生のニーズに応える支援体制の充実を図り、学生一人一人が実りあるキャンパスライフを送るためのさまざまなアプローチを用意しています。

キャリア支援

学部生から大学院生、若手研究者に至るまで、一貫したキャリア支援を目指し、多様なサポート制度を設けています。

1年次生から活用できる進路・職業選択支援プログラム

- 学部1年生の必修科目「大学教育入門」での講義
- キャリアガイダンス(教養ゼミ)
- キャリア教育科目
- インターンシップ
- 大学運営支援業務の紹介

就職活動準備中の学生への就活支援プログラム

- 就職ガイダンス、セミナー
- 就職支援ツアー
- 就職ハンドブック配布
- キャリア相談・就職相談
- 進路・就職システム(学生情報の森「もみじ」)による支援

若手研究人材養成支援プログラム

- キャリアおよび能力開発のためのプログラム提供
- 博士人材キャリア相談
- ITシステム「若手研究者ポートフォリオ(HIRAKU-PF)」による支援

グローバルキャリアデザインセンター

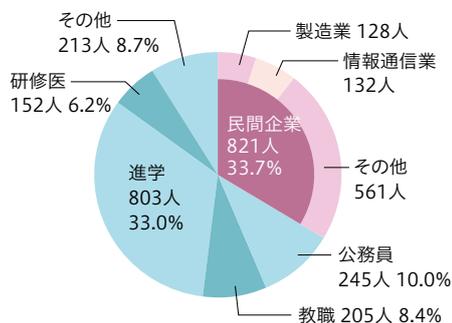
民間企業での人事・採用・教育・海外業務キャリアを持つ教員やアドバイザーなどのスタッフが、各学部・研究科などと連携を図りながら、留学生を含むすべての学生、若手研究者のキャリアデザインや就職活動を総合的にサポートします。



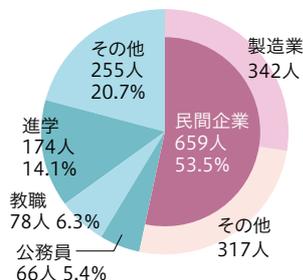
就職状況

(令和2年度 学部 就職者1,271人/大学院*就職者803人) ※修士課程、博士課程前期修了者

学部



大学院



主な就職先

●企業

マイクロンメモリジャパン、マツダ、広島銀行、中国電力、西日本電信電話、NECソリューションイノベータ、ダイキン工業、三菱電機、パナソニック、東京海上日動火災保険、クボタ、九州電力、本田技研工業、日立製作所、ニトリ、LIXIL

●公務員

広島県、広島市、国税庁広島国税局、経済産業省中国経済産業局、国土交通省中国地方整備局、厚生労働省広島労働局、財務省中国財務局

●教員

広島県教育委員会、広島市教育委員会、福岡県教育委員会、愛知県教育委員会、愛媛県教育委員会、兵庫県教育委員会

修学・生活支援

チューター制

学生一人一人を担当する教員(チューター)を学科・コースごとに複数配置し、入学時から卒業まで、学習や生活の悩みなど、大学生活全般に関するサポートを行います。

教育学習支援センター

「教育・学習に関する相談窓口」を設置し、日頃の学修で悩んでいることや教養科目(英語・物理・化学・数学)に関する学習の方法などについて学生スタッフ(大学院生等)が相談に応じています。その他、新入生の懇話会なども学生スタッフが企画しています。

ピアサポートルーム

学生による学生のための相談室です。専門のカウンセラーから指導を受けた学生が学生(ピア)の大学生活上の疑問や悩みについて秘密厳守でじっくりと話を聴きます。必要に応じて学内外の専門機関の紹介も行います。

アクセシビリティセンター

身体などに障害がある学生の学修サポート、アクセシビリティ(利用しやすさ、参加しやすさ)に関する助言、人材育成を行っています。平成18年より、「アクセシビリティリーダー育成プログラム」を日本で初めてスタート。令和2年度までに本学を含む全国21大学、3企業、2行政から2,243人のアクセシビリティリーダーが誕生しました。

保健管理センター

健康相談・身体相談・応急処置や、精神科医と臨床心理士による心の相談を行います。

経済支援

■ 広島大学独自の制度

1. 学力が優秀でありながら、経済的理由により大学進学や修学が困難な人を支援するための制度

- 広島大学フェニックス奨学制度
- 広島大学光り輝く奨学制度

2. 成績優秀な大学院生に授業料支援を行う制度

- 広島大学エクセレント
- スチューデントスカラシップ

■ 国の制度

(令和2年度から開始、主に日本人学部生を対象とした制度)

- 高等教育の修学支援新制度(給付奨学金+入学料・授業料減免)

※各制度には、対象条件があります。

社会に開かれ、 社会と 共に発展 する大学へ

総合大学として
幅広い研究に
対応する

共同研究 | **383** 件

受託研究 | **328** 件

※令和2年度に新規で実施した件数です(研究費が発生していない案件を含みます)。

共同研究から生まれた商品

八朔銘菓 せとこまち

株式会社にしき堂

ハッサクにビタミンCや食物繊維が多く含まれることが調査で判明。ハッサクジャムを求肥(ぎゅうひ)で包み込み、上品な甘さとほのかな苦味がマッチした和菓子です。



研究者

平田 敏文 名誉教授
矢中 規之 教授
(大学院統合生命科学研究所)

各種支援事業を展開

ベンチャー ビジネス 創出支援

累計 **75** 社
(令和3年4月1日現在)

共同研究から生まれた商品

イータック抗菌化スプレーα

エーザイ株式会社

広島大学で考案されたEtak®(持続型抗菌成分イータック)を主成分とする抗菌化スプレーで、テーブル、衣類などへの使用によりウイルスや菌を寄せつけません。抗菌成分が対象物表面に固定されるため、抗菌作用が、スプレー直後だけでなく1週間持続します。さらに、この結合力は強いいため、水拭きしても作用が続きます。



研究者 二川 浩樹 教授 (大学院医系科学研究科)

学内に企業と共同で
研究拠点を開設
共同研究講座

29 講座

(令和3年4月1日現在)



人をアシストする先進技術

動かない手を、自在に動かせる
義手に変えていく

脳からの電気信号をコンピュータが瞬時に判断して、動作を手伝われる義手を作成中。3Dプリンタを活用し、制作期間とコストを圧縮。

研究者

辻 敏夫 教授
(大学院先進理工系科学研究科)

組織的に連携し、
研究力を高める
包括研究協定

90 件

(令和3年4月1日現在)



人をアシストする先進技術

人の特性に適した学び方を、
すぐ手の届く技術で実践的に提案する

学び方に人をはめ込むのではなく、人の特性に適した学び方を、誰にでも手の届く機器やソフトウェアを組み合わせることで実用的に提案。本学の特別支援教育実践センターで、全国の小中高大学生に対して具体的に提案、指導し、日常生活や学校への導入を後押し中。

研究者

氏間 和仁 准教授
(大学院人間社会科学研究所)

主な産学官 連携事業

「ものづくりのデジタル化」により
地域レベルでイノベーションを目指す

デジタルものづくり 教育研究センター

地域において喫緊の課題となっているものづくりのデジタル化に対応するため、モデルベースによる材料研究や制御・生産プロセスのスマート化などに係る研究開発と人材育成を幅広く推進するとともに、地域レベルでイノベーションを実現していく本格的な産学連携システムの構築を目指しています。

脳科学から感性を解き明かす、
新しい産学官連携の取り組み

広島大学 感性イノベーション拠点

多くの企業、大学および研究機関と共に、「こころ豊かな社会」の実現のために、最新の脳科学を応用して、人と人、人とものを感性(こころ)で繋ぐBrain Emotion Interface(BEI)の開発を目指しています。これまで客観的に評価することが困難とされていた「ワクワク」「イキイキ」「きれい」などの感性を、BEI技術を用いて可視化(見える化)し、定量化することで、個人の感性やニーズなどに対応した製品、サービスが提供できるようになり、衣、食、住、車、教育、医療など多様な分野において社会の大きな変革が起こると期待しています。

バイオDXの産学共創でSDGs達成へ貢献する JST共創の場形成支援プログラム 広島から世界最先端の バイオエコノミー社会を実現する Bio×Digital Transformation (バイオDX)産学共創拠点

新型コロナウイルス感染症、食料問題、カーボンゼロ等の社会課題を解決するために、生物機能を最大限引き出す「Bio×Digital Transformation(バイオDX)」をコンセプトにした産学共創を推進し、SDGs達成に貢献するバイオエコノミー社会を実現する、イノベーション・エコシステムを構築します。

気候変動で激甚化する
『相乗型豪雨災害』に挑む

防災・減災研究センター

平成30年7月豪雨災害では土石流や土砂・洪水氾濫が多発し、西日本を中心に200人を超える犠牲者を出し、住宅、水道、道路などにも甚大な被害をもたらしました。当センターでは、クラウドファンディングなどでも資金を集めながら、災害メカニズムの解明に取り組んでいます。行政、企業、地域住民とつながり、災害に強いこれからのまちづくりや防災を担う人材育成に貢献していきます。

共同研究から生まれた商品

マイフローラ

野村乳業株式会社

広島大学の研究をもとに開発した新しい“発酵食”です。生きたまま腸に届く植物乳酸菌『ラクトパチルスプラントルム』が腸内フローラのバランスを安定させるので、1日1杯でおなかスッキリします。

研究者

杉山 政則 名誉教授
(大学院医系科学研究科)



学内に企業と共同で 研究所を開設 外部機関研究所

2 研究所

(令和3年4月1日現在)

共同研究から生まれた商品

ショコラミル

有限会社石の三徳
有限会社井上石材

御影石を使った石臼のショコラミル。カカオ豆から自分好みのチョコレートが作れる、世界でも珍しい製品です。

研究者

佐藤 清隆 名誉教授
上野 聡 教授
(大学院統合生命科学研究科)



蓄積された学術的な知識・情報を提供し、産業界の発展を支援

- 技術相談
- 共同研究
- 研究協力会

技術課題の解決や将来の開発課題への共同研究の実施等の相談を受ける「産学連携総合問い合わせ窓口」を設けています。また、研究協力会を通して、地域産業界へのサービス強化に努めています。研修プログラム、研究助成、企業内講演会なども行っています。

共同研究から生まれた商品

アルタンNAハンドソープ

アルタン株式会社

カキタンニン(柿渋)の効果で手指を健やかに保つ手洗いせっけんです。きめ細かい泡で手のすみずみの汚れまでしっかり落とし、手指を清浄にします。

研究者

島本 整 教授
(大学院統合生命科学研究科)

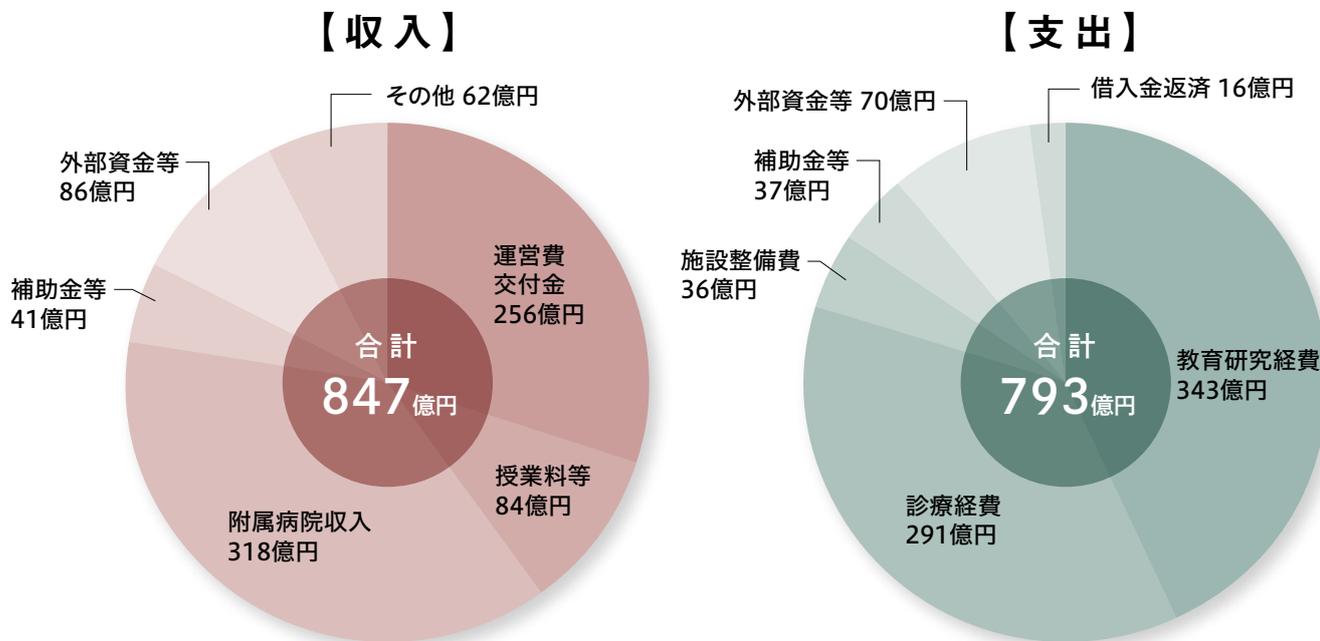
坂口 剛正 教授
(大学院医系科学研究科)



この他にも、食品・工業製品・医薬品など、多数の商品が誕生しています。

教育・研究活動のさらなる発展を見据え、国から交付される運営費交付金や授業料などを効率的に活用しています。また、各種基金を設立し、学生支援事業などに活用しています。

広島大学の収支状況(令和2年度)



※表示単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合があります。

基金

広島大学では、経済的な理由を抱える学力優秀者への修学支援や、外国人学生・日本人学生の留学支援などを目的に寄付金制度を設立し、各種事業を展開しています。法人・個人とも寄付金額に応じた税制上の優遇措置があります。また、一定額以上のご寄付をいただいた方のご厚意に対して、顕彰や記念品をご用意しています。

「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」 (広島大学75+75周年に向けて)がスタートしました。

白鳥学校創立以来、75年の前史を経て開学した広島大学は2024年、創立75周年の節目を迎えます。これに伴い、「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」(広島大学75+75周年に向けて)を設立し、広島の地にイノベーションを創出させる事業経費に充てるための寄付募集を行うこととしました。従来の学生支援事業や国際交流事業に加えて社会貢献事業、教育研究環境整備事業、研究支援事業の支援も充実させていきます。

広島大学基金 (平成19年度創設)

世界トップ100の総合研究大学を目指し、「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育成するために、学生支援事業、研究支援事業を実施しています。

用途① 広島大学フェニックス奨学制度・広島大学光り輝く奨学制度

経済的理由で進学・修学継続が困難な学力優秀者に月額10万円を給付する、本学独自の奨学制度です。

採用者数
(平成20～令和3年度)
147人

用途② ^{プラス}STARTプログラム・START+プログラム

STARTプログラムでは海外経験の少ない学部1年次生を、START+プログラムでは学生のより自律的な学習を重視し学部2年次生、3年次生を対象に、海外研修に参加する学生の渡航費や滞在費の一部を支援します。

派遣者数
(平成22～令和2年度)
1,835人

用途③ 大学院学生のための国際学会発表支援

海外で行われる国際学会で発表する機会を増やすことにより、学生による研究活動の活性化を促進します。

派遣者数
(平成23～令和2年度)
1,843人

広島大学冠事業基金

(平成27年度創設)

ご寄付をいただいた方のご芳名などを冠して、世界をキャンパスとして展開するために留学生・日本人学生を支援する事業を実施しています。

用途① 外国人留学生への奨学金

外国人留学生を数多く受け入れ、グローバルキャンパスを実現するために、渡日前に奨学金の受給が決定する広島大学入学前奨学制度を設けています。

用途② 日本人学生の海外留学支援金

グローバルに活躍できる「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」を育成するために、日本人学生の海外留学の支援金制度です。

広島大学では、世界のトップ研究者による講演やディスカッション、さまざまな分野で活躍中のリーダーによる講義など、学生の意欲を刺激する場を多彩に設けています。

広島大学から世界へ ～世界のトップ研究者に聞く～

ノーベル賞受賞者を中心に世界の最先端を行く研究者をお招きし、講演やディスカッションを継続的に開催しています。未来の科学者を目指す学生たちにとって、世界を驚かせた発見や研究を間近に体感できる貴重な機会となっています。

 <p>● 第1回「知のフォーラム」(2016年3月7日) ジョン・ガードン 博士 英国ケンブリッジ大学ウエルカムトラスト英国癌研究基金ガードン研究所教授</p> <p>2012年 ノーベル 生理学・医学賞</p>	 <p>● 広島大学情報科学部・総合科学部国際共創学科設置記念講演会(2018年5月16日) 大隅 良典 博士 東京工業大学科学技術創成研究院名誉教授</p> <p>2016年 ノーベル 生理学・医学賞</p>
 <p>● 第1回「知のフォーラム」(2016年3月7日) 山中伸弥 博士 京都大学IPS細胞研究所長</p> <p>2012年 ノーベル 生理学・医学賞</p>	 <p>● 第4回「知のフォーラム」(2019年3月11日) 天野 浩 博士 名古屋大学未来材料・システム研究所教授</p> <p>2014年 ノーベル 物理学賞</p>
 <p>● 第2回「知のフォーラム」(2016年11月29日) 梶田隆章 博士 東京大学宇宙線研究所長・東京大学特別栄誉教授</p> <p>2015年 ノーベル 物理学賞</p>	 <p>● 広島大学大学院統合生命科学研究所・大学院医系科学研究科設置記念講演会(2019年7月20日) 本庶 佑 博士 京都大学高等研究院副院長・特別教授</p> <p>2018年 ノーベル 生理学・医学賞</p>
 <p>● 第3回「知のフォーラム」(2017年4月5日) ● 知のフォーラム in Tokyo(2019年1月9日) ポール・ナース 博士 英国フランス・クリック研究所長 Source: Fiona Hanson / AP Images</p> <p>2001年 ノーベル 生理学・医学賞</p>	 <p>● 広島大学大学院人間社会科学研究所・大学院先進理工系科学研究科設置記念講演会(2020年7月2日) 吉野 彰 博士 旭化成株式会社名誉フェロー</p> <p>2019年 ノーベル 化学賞</p>
<p>● 第86回広島大学講演会(2018年3月27日) ムハマド・ユヌス 博士 グラミン銀行(バングラデシュ)創立者</p> <p>2006年 ノーベル 平和賞</p>	 <p>● 第5回「知のフォーラム」(2021年9月25日) ハーベイ・オルター 博士 アメリカ国立衛生研究所名誉研究員 © Nobel Prize Outreach, Photo: Joy Asico</p> <p>2020年 ノーベル 生理学・医学賞</p>

世界に羽ばたく。教養の力 ～世界で活躍するリーダーに学ぶ～

教養教育の一環としてスポーツ・芸術・科学・ビジネスなど各界で活躍中のリーダーを講師としてお招きし、学部新生を主な対象とする講義を開講しています。各界のトップに立って活躍する講師たちの視点や歩みに触れ、大学生活の目標や将来の夢を考えるスペシャル講義です。

《 2017～2021年度講師 》

 <p>五百旗頭 真氏 公立大学法人兵庫県立大学 理事長</p>	 <p>楠 雄治氏 楽天証券株式会社 代表取締役社長 広島大学文学部卒業</p>	 <p>不破 亨氏 湧永製薬株式会社 前取締役副会長</p>
 <p>池谷 裕二氏 東京大学 薬学部 教授</p>	 <p>高岡 浩三氏 ネスレ日本株式会社 代表取締役社長兼CEO</p>	 <p>前川 正雄氏 株式会社前川製作所 顧問</p>
 <p>池田 晃治氏 広島銀行 代表取締役会長</p>	 <p>佃 和夫氏 三菱重工工業株式会社 相談役</p>	 <p>松井 一寛氏 広島市長</p>
 <p>伊東 豊雄氏 建築家</p>	 <p>中丸 三千繪氏 オペラ歌手 (マリア・カラス・コンクール優勝)</p>	 <p>モーリー・ロバートソン氏 国際ジャーナリスト</p>
 <p>井上 康生氏 全日本柔道男子 監督</p>	 <p>二宮 清純氏 スポーツジャーナリスト</p>	 <p>茂木 健一郎氏 脳科学者</p>
 <p>上田 宗尚氏 茶道上田宗箇流 家元</p>	 <p>野村 謙二郎氏 野球評論家 広島東洋カープ 元監督</p>	 <p>矢野 博文氏 株式会社大創産業 会長</p>
 <p>小山田 浩子氏 小説家(第150回芥川賞受賞) 広島大学文学部卒業</p>	 <p>弘兼 憲史氏 漫画家</p>	 <p>山坂 哲郎氏 株式会社バルコム 代表取締役 広島大学教育学部卒業</p>
 <p>川淵 三郎氏 日本サッカー協会キャプテン(相談役) Jリーグ 初代チェアマン</p>	 <p>深山 英樹氏 広島商工会議所 会頭 広島ガス株式会社 相談役・名誉会長</p>	 <p>湯崎 英彦氏 広島県知事</p>

(五十音順、所属先、役職名等は、講義日時点のものです。)

広島大学が擁する東広島・霞・東千田の3キャンパスには、学部棟・研究科棟の他に、5つの附属図書館をはじめ、さまざまな実験・研究施設や文化・スポーツ施設が揃い、第一線の教育・研究活動が展開されています。

東広島キャンパス 東広島市

総合科学部
 文学部
 教育学部
 法学部
 経済学部
 理学部
 工学部
 生物生産学部
 情報科学部

約250万㎡もの広さを持つ東広島キャンパスは、広島県の中央部に位置する東広島市にあります。総合科学部をはじめ、9つの学部と3つの大学院が設置され、広島大学の中心となるキャンパスです。キャンパス内の建物は、North、South、East、Westの4つのゾーンに分かれて配置されています。

至 JR八本松駅

至 JR西条駅



国立大学有数の
 キャンパス面積を誇る、
 緑豊かなガーデンユニバーシティ

建物の詳しい配置については、
 ウェブサイトでご確認ください。
[広島大学ウェブサイト](#) [交通アクセス](#) [東広島キャンパス キャンパスマップ](#)





2020年1月より
広島大学キャンパスを
全面禁煙としました

受動喫煙防止対策の徹底および禁煙教育の推進等の観点に立ち、2020年1月から本学の全キャンパス内を全面禁煙としました。

詳しい情報はこちらから! >>>

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/initiatives/kinen>



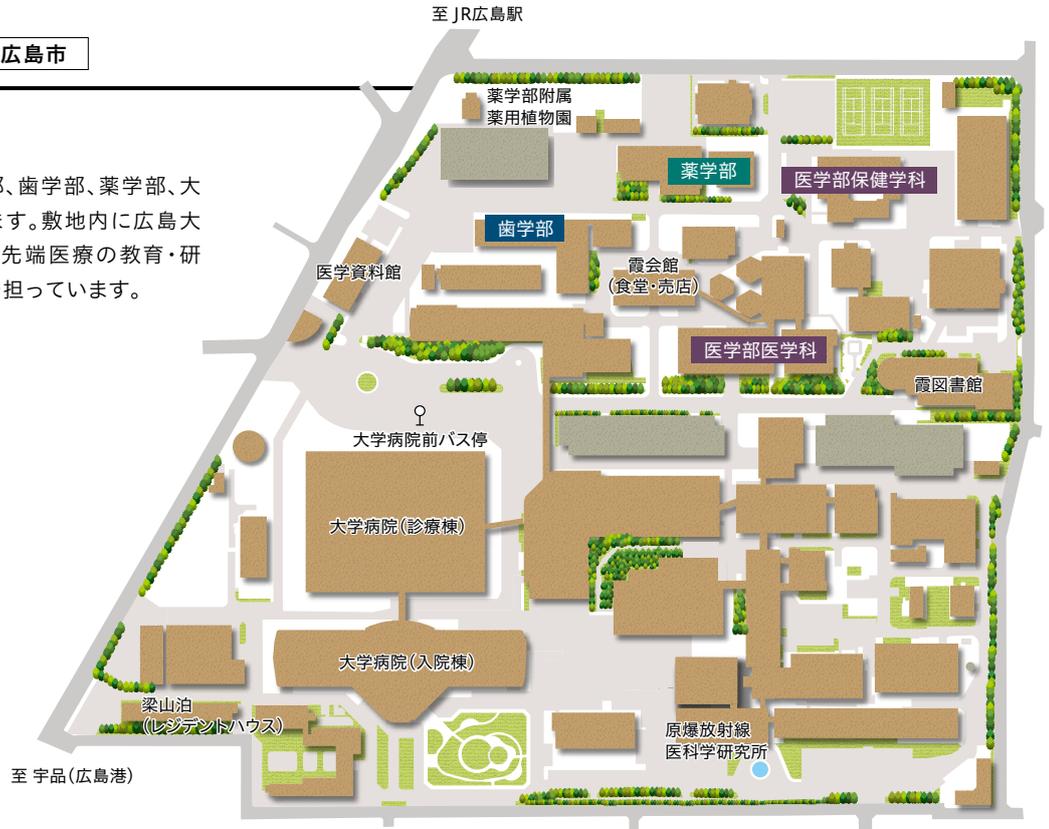
霞キャンパス

広島市

医学部 歯学部 薬学部

広島市内にある霞キャンパスは、医学部、歯学部、薬学部、大学院医系科学研究科が設置されています。敷地内に広島大学病院や研究施設なども併設され、最先端医療の教育・研究・臨床の情報発信拠点としての役割を担っています。

最先端医療教育の
研究・臨床の
情報発信拠点



東千田キャンパス

広島市

法学部 夜間主コース
経済学部 夜間主コース

東千田キャンパスは広島市内にあり、東広島市への統合移転前に、広島大学が設置されていた場所の一部にあたります。法学部・経済学部夜間主コースの授業に加え、2016年度から新校舎「東千田未来創生センター」で、医学部・歯学部・薬学部学生への教養教育を実施しています。

広島大学の
歴史が息づく
学びの拠点





フェニックス国際センター MIRAI CREA(ミライ クリエ)

〈東広島キャンパス〉

「緑で紡ぐ交流の丘」をコンセプトに、持続可能社会を体現するシンボリックな外観デザインで2021(令和3)年10月に開館しました。開放的な多目的スペースやコミュニティキッチン、カフェ、会議室などがあり、3階以上の宿舍スペースには交流ラウンジなどを配置。7階にはトップクラスの研究者用の居室も整備しています。多様な人々との交流と知識の循環、海外のトップ研究者や優れた留学生への安全で快適な居住空間の提供など複合的な機能を持ち、国際的研究拠点東広島の形成に向けた「知の拠点」の役割を果たします。



福山通運 小丸賑わいパビリオン

〈東広島キャンパス〉

学生のための多目的施設として、2019(令和元)年に完成。広島県産木材を用いた室内は、学生の起業活動や集会、自習など、さまざまな用途に活用できます。福山通運株式会社および公益財団法人渋谷谷英会の寄贈で、ヤマネホールディングス株式会社が施工しました。

図書館

広島大学図書館は5館で構成され、総蔵書数は約346万冊と、全国有数の規模を誇ります。パソコンからの指示によって本を自動的に取り出せる「自動書庫」も備えています。また江戸時代から現在までの教科書コレクションをはじめ、数多くの貴重な資料を所蔵しています。

施設概要(令和3年現在)

図書館名・所在地	面積	閲覧座席数	蔵書冊数	主な蔵書
中央図書館	16,053㎡	992席	約229万冊	人文・社会科学、教育学、自然科学系の図書・雑誌
東図書館	1,745㎡	29席	約27万冊	自然科学系(主に工学、生物学)の図書・雑誌
西図書館	6,102㎡	882席	約65万冊	全科の教養、学習参考図書・雑誌、自然科学系の図書
霞図書館	2,382㎡	385席	約19万冊	医学・歯学・薬学・保健学系の図書・雑誌
東千田図書館	685㎡	81席	約6万冊	法学、経済学の図書・雑誌



中央図書館(東広島キャンパス)



西図書館(東広島キャンパス)



東図書館(東広島キャンパス)



霞図書館(霞キャンパス)



東千田図書館(東千田キャンパス)

データベース／サービス

新聞記事や雑誌記事検索などの各種データベースをはじめ、映画や音楽、語学学習用ソフトなどの視聴覚資料が利用できます。また学習や研究に必要な資料・情報などの入手を、図書館スタッフがサポートします。

ライティングセンター

授業の課題やレポートなど、文章の書き方で困った学生の相談に対応しています。文章指導の専門的な研修を受けた大学院生のチューターが、対話やブレインストーミングを通して、より分かりやすい文章を作成できるようにサポート。英語論文の相談も受け付けています。



学習支援スペースBIBLA(ビブラ)

グループワークやディスカッション、プレゼンテーションの練習ができるスペースや、インターネット(Wi-Fi)を使って自習ができるスペースなどがあります。自由に使える移動式のホワイトボードや図書資料を広げてもゆったり使える書斎のようなデスクが人気です。また霞図書館のBIBLAは霞キャンパスの学生に限り24時間利用できます。

特別コレクション

中央図書館には、特別コレクションとして個人文庫、特別集書、大型コレクション、寄託資料等の貴重な文献を収蔵しています。これらの一部はデジタルコレクションとして電子化して公開しています。



福沢諭吉「学問のすすめ」
1872(明治5)年



マルクス「資本論」
第1巻初版本



詳しい情報はこちらから! <https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

日本語版

<https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

英語版

<https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?lang=english>



サタケメモリアルホール 〈東広島キャンパス〉

大学創立50周年を記念して建設されました。グランドピアノをイメージした外観が美しいホールです。学会などの学術交流をはじめ、音楽や演劇などの芸術活動、地域の方々との交流など、多目的に利用されています。この建物は、株式会社サタケをはじめ同窓生や企業などの寄付により設置されました。



学士会館 〈東広島キャンパス〉

学術交流の促進を通して本学における教育研究の発展に資するとともに、本学と地域の方々との学術・文化交流や、本学の構成員および同窓生の親睦・交流に寄与することを目的として設置されました。レストランや会議室、レセプションホール、宿泊施設を備えています。



総合博物館 〈東広島キャンパス〉

広島大学総合博物館は、本館を中心にキャンパス内に点在するサテライト館とそれらをつなぐ「発見の小径(東広島キャンパスの広大な敷地を利用した自然散策道)」で構成した、キャンパスまるごと博物館です。常設展示の他に、企画展やフィールドナビ(野外観察会)などのイベントも開催しています。

本館

広島大学の紹介や、貴重な化石・剥製、地域の環境や文化に関わる資料を展示する総合博物館の中心施設で、インフォメーションセンターの役割も担っています。



サテライト館

各学部やセンターの専門的な研究内容を展示・紹介しています。埋蔵文化財調査部門・生物生産学部・理学部・文学部・中央図書館・両生類研究センターの6カ所にあります。



発見の小径

四季折々の自然の移り変わりを楽しむとともに、キャンパス内に生息する絶滅危惧種を含む多様な生物や、先史時代以降の多数の遺跡を見ることができます。

東千田未来創生センター 〈東千田キャンパス〉



霞キャンパスで学ぶ医療系学部の学生への教養教育の実施とともに、大学間・産業界・自治体等との連携による教育・研究プロジェクト事業を実施することを目的としています。

リーガル・サービス・センター 〈東千田キャンパス〉



大学院人間社会科学研究所附属リーガル・サービス・センターは、法科大学院の社会貢献の機能を担う部門として2005(平成17)年に開設し、民事事件の無料法律相談を毎週1回行っています。

医学資料館 〈霞キャンパス〉



戦時中に、広島陸軍兵器補給廠(ほぎゅうしょう)の兵器庫として使用されていた旧医学資料館を1999(平成11)年に解体後、ほぼ同じデザインで再建しました。現在の建物には、被爆当時のレンガや石の一部が再利用され、被爆建物に指定されています。

病院 〈霞キャンパス〉

広島大学病院は、「全人的医療の実践」「優れた医療人の育成」「新しい医療の探求」を理念に掲げ、中国・四国地域の中核医療機関として、急速な進歩を続ける医学に対応する先進的な医療を提供しています。



地元プロチームとの連携

広島東洋カープ、サンフレッチェ広島など、プロスポーツチームの拠点となっている地域性を生かし、これらのチームと積極的に連携しています。新入団選手の体力測定や選手の日常的な健康管理指導などを通して、競技パフォーマンスの向上に貢献しています。



新型コロナウイルスへの対応

診療面では、最重症患者受入れのため8床を設け、体外式膜型人工肺ECMO(エクモ)も使い治療を行い、また、感染拡大時には、中等症患者用に28床を設け、病院挙げて治療にあたっています。ワクチン接種では、歯科医師を含む医療従事者の派遣や高齢者集団接種会場の運営を請け負うなど積極的に対応しています。研究面では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)令和2年度「ウイルス等感染症対策技術開発事業」において、全国で広島大学のみ、実証、改良、有効性確認研究支援のすべての分野で採択されました。



詳しい情報はこちらから!



<https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/>



学部学生 **10,605**人

大学院学生 **4,435**人

教職員数 **3,651**人

学生 **4.1**人
あたりに1人

令和2年度 博士学位授与数 **364**人

THE大学インパクトランキング2021
総合スコア 国内トップ・5項目で1位
SDG4(質の高い教育をみんなに)
SDG5(ジェンダー平等を実現しよう)
SDG6(安全な水とトイレを世界中に)
SDG8(働きがいも経済成長も)
SDG11(住み続けられるまちづくりを)

国内 **1**位

学部卒業生数 **144,231**人

累計

広島大学図書館 年間入館者数 **約41**万人

開館日 1日あたり **1,711**人

広島大学図書館蔵書数 **約346**万冊

学生1人あたり **約230**冊

東広島キャンパス 敷地面積 **約249**万m²

広島市民球場 (マツダスタジアム) **49**個分

数字で見る
広島大学
(令和3年5月1日現在)

沿革

広島大学は、日本で最も多くの前身校(9校)を持つ大学です。広島高等師範学校(明治35年創設)、広島文理科大学(昭和4年創設)、広島工業専門学校(広島高等工業学校として大正9年創設)、広島高等学校(大正12年創設)、広島女子高等師範学校(広島高等女学校として明治20年創設)、広島師範学校(白島学校として明治7年創設)、広島青年師範学校(広島県実業補習学校教員養成所として大正11年創設)の7校を包括し、広島市立工業専門学校(昭和20年創設)を併合して新制広島大学は誕生しました。昭和28年には、新制広島医科大学(広島県立医学専門学校として昭和20年創設)を併合しました。

1874 (明治7)年～
●前身諸学校の創設



1945 (昭和20)年
●広島市に原子爆弾投下



1949 (昭和24)年
●新制国立大学の1つとして、
広島大学創設
(6学部・4分校・1研究所)

1950 (昭和25)年
●広島大学開学式
●初代学長の森戸辰男が
広島大学を「自由で平和な
一つの大学」にすることを表明

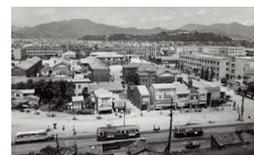
1953 (昭和28)年
●県立広島医科大学を併合
●大学院を設置(3研究科)



1956 (昭和31)年
●広島大学学章を制定

1957 (昭和32)年
●広島大学歌を制定

1972 (昭和47)年
●評議会が統合移転を決定



1982 (昭和57)年
●東広島キャンパス開校



1995 (平成7)年
●統合移転完了

1999 (平成11)年
●創立50周年

2002 (平成14)年
●中国・北京に初の海外拠点を設置



2004 (平成16)年
●国立大学法人広島大学発足

2006 (平成18)年
●到達目標型教育プログラムを導入

2010 (平成22)年
●学生プラザを創設

2016 (平成28)年
●東千田未来創生センターを創設



2018 (平成30)年
●情報科学部を設置

2019 (平成31・令和元)年
●大学院統合生命科学研究科、
医系科学研究科を設置
●創立70周年

2020 (令和2)年
●大学院人間社会科学研究科、
先進理工系科学研究科を設置

2021 (令和3)年
●フェニックス国際センター
MIRAI CREA(ミライ クリエ)開館

100年後にも 世界で光り輝く 大学へ

UNIVERSITY OF WORLD-WIDE REPUTE AND SPLENDOR
FOR YEARS INTO THE FUTURE



広島大学



TOP GLOBAL
UNIVERSITY JAPAN



HIROSHIMA UNIVERSITY
The Program for Promoting the Academic Standard of Hiroshima University

広島大学財務・総務室広報部広報グループ

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL.082-424-3701 FAX.082-424-6040

E-mail koho@office.hiroshima-u.ac.jp

ウェブサイト <https://www.hiroshima-u.ac.jp>



このパンフレットは環境に優しい
「植物油インキ」を使用しています。



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。